

WACATE マガジン Magazine Vol.34

🍁ご挨拶🍁

WACATE-Magazine をご覧の皆様、こんにちは。
WACATE-Magazine 編集部です。

すっかり秋も深まり、風が涼しくなりました。
もう衣替えは終わりましたか？

写真は雨のニセコの朝です。
すっかり秋色ですね。



秋といえば勉強の秋、読書の秋！
とゆーワケで我ら Magazine 編集部は
JaSST' 11 Hokkaido に行ってまいりました！！

この時期は JaSST をはじめ、全国でイベントが活発
に行われていますね。

さらには”レビュー祭り”にも参加しました。
※こちらは次号にレポート掲載となります

濃ゆいイベントレポート第一弾
情報満載の
WACATE-Magazine vol. 34
はじまるよー！

🍁お品書き🍁

【特集1】

JaSST' 11 Hokkaido Report!

【特集2】

脱がっかりツアーII!

【雑談すべしやる】

てすバナ語るっcha!

【リレーコラム】

Software Test Topics

【コラム】

日々撮影

【リレーコラム】

WACATE-Blog 出張所

【連載】

源太郎のソフトウェアテスト占い

【連載】

今月のSTAR☆

【あとがき】

🍁WACATE Topics🍁

現在鋭意 WACATE 2011 冬 準備中です♪

★WACATE 2011 冬前夜祭のお知らせ★

WACATE2011 冬も前夜祭があります！
詳細は決まり次第 WACATE ブログで告知します☆
<http://wacate.jp/blog/>

テスト設計コンテストエントリー開始！
http://jasst.jp/symposium/jasst12tokyo/contents_12tokyo.html

次回のですバナは
11/27[sun]です♪

JaSST '11 Hokkaido Report



◆◆◆JaSST'11 Hokkaido◆◆◆

行ってきました！JaSST' 11 Hokkaido!!

毎回素晴らしい内容のシンポジウムですが、今回もテーマが魅力的すぎて、WACATE-Magazine編集部としても行かざるをえません！

天気にも恵まれ、とても気持ちのいい天気の中、札幌教育記念会館に臨みます！

◆◆◆オープニング

なごやかな雰囲気の中、司会の秋元さんからご挨拶。

「今年のテーマはJaSST Do It!

Doは「実施」と「北海道の道」でもあります」

といった言葉から、実行委員の皆さんの熱い想いが伝わってきます。

今年は初心者向けと経験者向けのテスト設計ワークショップがあるということで、とても楽しみです！

吉澤塾長のご紹介を厳かにした後、
我らが智美塾・塾長の登場です。

◆◆◆テスト開発レトロスペクティブズ
ーみなさん、そのテスト楽になっていますか？ー

吉澤 智美氏(日本電気)

我らが智美塾塾長が登場すると、柔らかい表情で世間話から話をはじめました。

「朝からスープカレーという表示があったのでそんなに北海道で盛り上がってるんですね。

あれ？…失笑が多いのでそうでもないらしいw」

柔らかな口調でつかみをいれたまま吉澤さんが続けます。

レトロスペクティブはポストモードともいいます。
レトロスペクティブズはアジャイル用語ですが、
大雑把に言ってしまいますと「振り返り」という意味です。

さて、ここで予稿集に仕掛けをしました。
予稿集に書いた「お願い」をしてください。お願いします。

※予稿集にちょっとした指示が書いてありました。

その内容は「左手でチョコキを作り、手を上げること。」

「右手を上げること」という指示もあったのですが、

左手のチョコキはそれよりも優先してください、と記載してありました。

ドキュメントをしっかりと書いてもなかなか読んでくれないことが多いです。この実験でちょっと見たい気持ちがありました。

つかみを終えた後は「自分のキャリアの振り返り」として、
ゆっくりと塾長の今までの業務を語り始めます。

エディタやデバッグなどの開発環境となるツールそのものを作っていました。

まず、ドキュメントの作り方、開発者/サポートとのI/F、
不具合表の適切な書き方を担当しました。

私は教育学部出身で、箱根で美術館のマニュアルを作ったりしました。

子供に向けて誰でもわかるように書くのは難しかったそうです。

最初に取り組んだ課題は

「不具合表の適切な書き方」

最初にこれをやったのはとても良かったと思う。

どうやってデバッグが動いているかわかりますか？

どのようにブレイクポイントを張ってどのようにイベントを取るのか。

これはとても勉強になりました。自分たちが作っているものがどうやってつくられているか、そういうことができたのは大変ためになりました。

○自動化

今はコンパイラ、デバッグなどは「統合開発環境」として提供されているが、昔はバラバラだったので、デバッグとコンパイラのどちらかバージョンがあがると、整合性が取れないということもありました。

それをつくっていくと容量が上がってしまうため、様々なことを自動化していく必要があった。

○チーム編成

上記の自動化の際に開発チームとテストチームを作った。

すると、開発チームがどんどん手を抜き始めた。

※テストチームがやってくれるから良いというマインドになった。

なので、テストチームのスコープを開発と重ねながらチームを作っていた。

○構成管理、インストール

それまではなかったインストールなども範囲内になった。

◆◆IPA研究員、本社スタッフ

○各社、各部門の状況、今までの整理

自分がやってきたエンジニアリング活動を振り返るのはとても良かった。

○ソフトウェアエンジニアリング、品質保証活動

品質保証が必要な理由というのがわかるようになった。

◆◆社外活動で得られたもの

以下の社外活動をしている。

QuasTom, TEF, SESSAME

JaSST, JSTQB, ASTER

他の会社の方と話す自分が持っている悩みが皆持っていることがよくわかります。

社外で得られた知識を社内に持って帰らないと、社内でイヤミを言われることもあるので、ぜひ、双方向で知見の交流を得て皆で幸せになればいいな、と思います。

○総括その1

何を作っているのか、テストしているのかを知る。

どうやったらテストできるのか、どうやってテストしたら

よいのか、どのような道具があるのか

技術の限界は知っておく

チーム作りも大切

技術をいかに取り組むかを考える

人脈は最大限に生かす 社内も社外も

キーパーソンは必ずいる。

自分が何をやっていることを子供の成長とリンクして覚えている、ということでした。

◆◆では、世の中はどうかー

ここ10年の振り返り。割と大きな出来事としては、職場が29階→33階に引っ越したそうです。

○昔のドキュメント

・昔の大西さん(豆蔵→ガイオテクノロジー/元JaSST東京実行委員長)の資料があった。

SQCさんの 세미나ではこういったことをしていた

・テストとは

・テスト設計の考え方

・機能網羅テストと境界値テスト

テスト高目標および

バグ報告書の作成

：

・大場先生のセミナー

・プログラムフローグラフ

・制御フローに基づく設計

：

・松尾谷先生のセミナー

・単体テストとその演習

CFD技法による単体テスト設計、テスト設計の演習

：

検証指向設計の話。これらは2003年のドキュメント。

・松尾谷先生の社内セミナー

検証技術(94年)

受けた講義は「ソフトウェア品質技術」だった。

・テストの難しさと技法

・場合の数の問題

ー今だに聞いてみたいことが多い。

今でも通じる。技術は変わっていないのか？

テスト初心者向けセッションより書籍刊行状況

1998年から…ここ15年くらいで増えてきた。

○JaSSTの歴史

講演内容の傾向の変遷。話題は技術→プロセス志向へ？

ソフトウェアテストシンポジウム、そろそろ10周年を迎えます。

JaSSTは地域の方が「やりたい！」とあって始まる。

自発的にボランティアベースでやっている。

10年で530のセッションがあった。参加者はのべ約13800人。

基調講演、招待講演、チュートリアル、研究発表、ワークショップ、

パネルディスカッション、スポンサーセミナー、

イベントなど。

北海道は39セッション。

東京は2日間や56トラックが増えるので358。

セッションの傾向を分類してみた。

技術系、設計、プロセス、品質、レビュー、ツール、組織、教育、概況。

ー顕著な変化はない。地域で興味が違うことはわかった。

・九州は技術。

・四国は品質。

・東京はツール。ツールベンダがおおい？

・北海道はレビューと設計(スープカレー表)。

各地域のキーワード

・北海道：ユーザビリティ、スープカレー

・新潟：組織力、派生開発

・東京：なんでも

・東海：独立検証、AUTOSER

・関西：テスト技術、教育、レビュー

・四国：テスト技術、メトリクス

・九州：品質保証、クリティカルデバイス

○総括2

いろいろな技法、技術が提案されている。進化している。
では現場は？テスト対象の進化が早い？
オブジェクト指向設計、大規模化、開発期間の短縮
なによりテスト期間の短縮が急務
→多いのは「時間が来たら終わり」
「お金がなくなったら終わり」
それほどやっていることは変わらない？
自動化をやってみたけど…
→スクリプトのメンテナンスが大変。
よさそう、というのとやってみるのは大きく違う。
テストが深まるばかり？

世の中に情報はたくさんあります。

一ここでちょっと休憩。

“バグを見つけることの難しさとポイント”

「テストPRESSにてふりがなを間違えられた事例」
ふりがなを書いて提出しているのにも関わらずふりがなを間違える。

以上2つの例からわかること

- ・知らないことはチェックできない
→仕様を理解している必要がある
- ・ノイズがある。細かいものはわかりにくい
→ソフトウェアも複雑だと、
それだけバグをみつけにくい
- ・チェックポイントがわかっているとバグを見つけやすい
→テストの観点を持っていると狙ってテストができる
※例を出された後にもう一度見ると、見つけやすい。
テスト観点という言葉は人によって使い方が違う
ので危険ではあるが、ようは「どう見るか」
- ・思い込みがあると見つけられない
→ここは動くはず、と思い込んでいると
バグを見逃しやすい。
なんにでも疑ってかかるのがテスト屋魂
※ベテランが作っているから、という油断は禁物。
人間を疑うよりもモノを疑う。と心がける。
- ・他に見るべきことが多すぎると細かいところに気が回らなくなる
→バグは少ない方がよい。
※原稿の表紙に間違いがあっても内容の方に注視した。
全てがきれいに作られていたのであれば、
もしかしたら表紙に気が回ったかも知れない

難しいことをやっている、という意識が少ない。

「テストって新人がやる」というところが多い。
「一番優秀な人間がテストをやる」というところもあるが、
非常にまれ。

◆◆テスト、バグをたたき出すためのアプローチ

吉澤さんの作成した図。
※実物は見れないのですが、以下のようなものを図示して
いました。

=====

入力→処理→出力

それらに対して影響を与えるものがある。

「環境」「OS」「状態」「H/W」「他の処理」「物理法則」
などなど。

=====

ソフトウェアはそういう作りになっている。
テストは主に入力に刺激を与えて結果を見る
入力自身を見る。
入力しているときの影響に刺激を与える
異常系をやるときは「処理」に手を加える。

そして、それら全てを観測する。

テストはどのように考えていく？

- ・入力→出力
- ・入力+環境→出力
- ・入力+環境+処理→出力
- ・入力の異常系→出力
- ・入力+環境の異常系→出力
- ・入力+環境→出力、環境

2段目(入力+環境→出力)らへんまでは、何となくでテスト
できる

3段目(入力+環境+処理→出力)以降は難しい

※環境=影響を与えるもの

テストをするということ。

ちゃんとテストする=テスト量を増やすことか？

→2つの考え方がある

- ・テスト項目を増やす方向：網羅
- ・テスト項目を減らす方向：効率

そのためにさまざまなテスト技術がある

テスト技術について

- ・マイヤーズ
 - ・擬人化計画※JaSST' 11 Tokyoの1企画。
 - ・秋山さん
- から分類

○古くからの技法

- ・エラー推測
- ・原因結果グラフ
- ・同値分割
- ・境界値分析

○最近(かもしれない)技法

- ・負荷テスト
- ・シナリオテスト
- ・いじわるテスト
- ・オールペア/ペアワイズ
- ・探索的テスト
- ・デシジョンテーブルテスト
- ・統計的テスト
- ・HAYST法/直行表

○マイヤーズ本(第2版)

- ・Webプログラミング
- ・電子商取引

同値分割と境界値分析(マイヤーズ本で言うと限界値分析)
→9割の参加者が知っている。

テスト観点: NECのテスト設計のテンプレートを作った
機能テストのテスト観点を境界値に対して抽出する。
境界値は大事、といってもそれを更にサブ観点に分ける
入力データに関する境界...など。
+ヒントワードで構成

テスト観点だけでも列挙しておく、使いやすい。

◆◆ソフトウェアの変遷とテストの変遷

○ソフトウェア技術の変遷

大規模化、短納期化
ソフトの重要性の高まり
ソフトウェア不具合の損失/責任がだんだん上がっている。

○テスト技術の悩み

大規模化
重要性

○テストの変遷

とにかく全部テストする: カバレッジ
→テスト数を減らそうと頑張る: 同値分割
→全部の範囲がカバーできるように合理的にテストする:
設計、自動化、リスクベースド

テスト設計という言葉は10年前はほとんど無かった。
JaSSTは「テスト設計をちゃんとしよう」というのを根付かせたいということも一つの目的としてあった。

◆先進的なテスト設計の例

○ゆもつよメソッド(テストPRESS vol.10)

テスト分析マトリクス
観点を出してマッチングするところを作っていく。
広げながら絞っていく。

○HAYST法 FV表

全部を抜き出しておきましょう。
仕様書がしっかりしていることが前提。

○NGT/VSTeP

テスト観点をベースにモデリングする
全部出してまとめていく。

テスト方法論:

何をどのようにテストしていくのかをまず考え、その中の各場面でそれぞれに用いることのできる技術を決める。
どの技術をどのように使うかは自分で考えること

自分に必要な技術は何か、目的を持って取り込むことが大切

○テストの観点を上流にも生かす

テストの目的とは?

- ・欠陥を抽出する
- ・対象ソフトウェアの品質レベルが十分であることを確認する
- ・出荷してよいかどうかの判断をする
→きちんとテストしたことを見せる
- ・欠陥の作り込みを防ぐ
→開発にフィードバックする

○テスト開発プロセス

ちゃんと作る、ちゃんとテストする技術
良いマネージャ、良い組織は実は頭の中でやっている
※それを体系化してやっていこうという話。

- ・計画: 計画を立てる。コントロール
- ・分析と設計: 対象をちゃんと知る
- ・実装と実行: 詳細化、手順化
- ・評価と報告: どこまでテストしたらよいか、どのように報告するか
- ・終了作業: まとめ、保守、次の開発へのフィードバック
上記をしっかりとエビデンスを取ってやっているか、という
とまた別。

○どのくらいテストしたらよいの?

- ・テスト対象によって変化する
- ・テスト対象を見極める
- ・ESQRでは項目数については注意書きが存在する。

ESQR(Embedded System Quality Reference)

- ・製品: 品質レベルを分析
→ユーザがどの程度の品質を求めているのか?
- ・環境を分析: 品質レベルを補正
→自分たちはどのような環境でモノを作っているのか?
- ・プロセス: 作業の十分性を提示、コントロールする
テスト作業実施率: 開発全体に対してどのくらいテストするのか?
テスト作業充当率: 開発規模に対してどのくらいテストするのか?
テスト密度: 開発規模に対してどのくらいの項目が必要か?

※きちんとテスト項目、テスト結果のレビューをきちんとやってこそその指標である

100行のプログラムと100万行のプログラムでは考えることが変わる。

○テストで楽になるのか？

早く帰れるが一番ですが、テストの環境はますます厳しくなっている。大規模化、短納期。

↓

せめて、枕を高くして眠れるように。

開発とタッグを組んで早め早めにバグを追い出す

・テスト技術の腕を磨いて効果的なテストをする

開発の遅れの原因として、前のバージョンの修正をしていた、といったことがある。

テスト技術を工夫してうまく取りくんで、楽にしましょう。

○おわりに

今日が初めの一步。

全国に仲間がいます。会社を飛び出して腕を、頭を磨きましょう。会社への持ち帰りも忘れずに。

次の10年を作るのは私たちです。

◆Q&A

Q. 二次受けや三次受けの場合は、お客様としっかり話せない場合は、ユーザがどの程度の品質を求めているかがわからない状態等もあると思います。

その際はどうか考えたらよいか、ヒントをいただければ。

A. 二次請けや三次請けではその製品がどのように使われるかを考えることで考えることができます。

まずは、知りましょう。

◆感想

圧倒的な情報量と整理された考察は圧巻でした。

特に後半の方法論の話はとてもわかりやすく整理されていて、さすが塾長！と感動しました。

なにごととも振り返ることで見えてくるものは多い、と心から思いました。

◆◆◆事例発表

実食！スープカレー！

～スープカレー表を使った画面の大規模改修事例～

小楠 聡美氏(アジェンダ)

WACATEにも参加していただいたことのある

おぐす塾長の自分の写真を使ったユニークなプレゼン！

スープカレー表

(<http://jasst.jp/archives/jasst10s/pdf/S4.pdf>)の実用事例発表です。※実施には”改訂版3辛”を利用しているとのことでした。ゆったりながらも丁寧に説明を始めます。

請求書に対して入金を行ったことを登録する

問題点：ユーザビリティが悪い

例：何を検索するための条件なのかわからない

セットで使う機能が離れている

ユーザがやりたいことが思うようにできない

※どの請求書に対して入金されたのか、が実はよくわからない。

・問題の原因

ユーザビリティについて考えていなかった

基本の機能に対して機能を盛り込みすぎたのが主な原因

→現在ある不満から改修を進めることにした。

○スープカレー表を使ってどうしたか

・既存画面のスープカレー表を作る

・画面イメージ(ラフ画面)を作る

・新しい画面のスープカレー表を作る

・画面イメージを調整

・設計書を作成/レビューする

・テスト設計/テスト仕様書の作成

・テストの実施

出来上がり…だが

さらに顧客から上がった問題点がある。

そのさらに上がった問題点を分析してみようと考えた

・出来上がったスープカレー表に対して、問題を交点に入れてみた

交点に収まるもの、収まらないものが出てきた

・機能と非機能の交点に出たもの

・使いづらい

・交点に収まらないもの

・機能もれ

一番多かった問題点は「その機能を使うにあたり、見たい情報を使えない」ということ

→これを解消するために2画面にするようにした

ここでスープカレー表を流用してシナリオを修正しなおした。※スープカレー表の内容についてもよく使う項目を左にまとめるなど、工夫をした。

スープカレー表の交点を使うと

「非機能要求」が量が増えるとみづらくなる。

→内容をチェックリストにして抜き出し、

レビューアビリティを上げた。

→上記施策により、2件の記述漏れと

いくつかの検討不足を発見した。

○テスト実装

今回はシナリオテストと機能テストを作る。

- ・機能テスト：現在実施中。※開発が。
- ・シナリオテスト：すでに準備していたので
スープカレー表を流用した。
→テストデータを作るだけで終了。
スープカレー表を作っておくと、
楽になることがわかった。

○テスト実施

ここで、機能漏れを見つけてしまった。

- なぜ見つからなかったのか
シナリオを、システムと関係のないところと考慮して削除してしまっただけ。

○なんとということでしょう！w

- ・回収後の問い合わせ件数が激減
→調査にかかる工数がなくなった。
→問い合わせが1月数件から数ヶ月ゼロに。
- ・何を検索することなのかわからなかったりしたが
- ・セットで使う項目を近くに配置することができた。

○スープカレー表の効能

- ・使いにくいなどの問題をさらに追加しやすくなった
- ・レビューしやすくなった
※既存機能へのニーズに影響を与えていないかを
- ・機能もれを3つのポイントで発見できた。

○まとめ

- ・スープカレー表は開発の全行程で有効利用できる。
ほとんどの過程で活用できる。特に機能もれ発見に有効
- ・スープカレー表は改修工程でも有効活用できる
改修工程では、問題点をさらに交点に埋める箇所から実施することができるはず。
ユーザー観点を取り入れて開発を行うと、よりユーザー観点を取り入れたものができる

○今後の目標

- シナリオテスト以外のテスト設計への応用
→さらなる事例の増加

◆Q&A

- Q. スープカレー表を作るうえで一番大変なことは？
A. 機能と非機能の交点を入れるところがあるのですが
非機能を洗い出すのが個人的に感じる
重複があったり、一度では出せないことが多い。

◆感想

スープカレー表を中心に据えた初の事例ということもあり、とても興味深く聞きました。至るところでスープカレー表が活躍し、情報の整理にとても有用であることがわかりました。今後の更なる事例に期待です！
しかし、プレゼンがズルい！w

◆◆◆事例発表

品質エンジニアの思考回路ーコードインスペクション編ー
原 佑貴子氏(日本IBM)

レビュー活動の中でこういったことをやっているかということを発表しながら、みなさんにもいろいろ感じていただけたらな、と思っています。

私の実家は旭川で、入社とともに上京、エンタープライズをほぼ一本でやってきました。8年前にQAの組織に異動して、そこからレビュー活動に従事しています。

今日は実家から母が来ていますw
※会場にははらさんそっくりのお母様がいらっしゃいました^^

IBM QI法(Quality Inspection法)

IBM細川宣啓さんが提唱したものであり
サンプリングを行ってレビューをするものです。
ランダムサンプリングではなく、狙い撃ちです。

本日はどこかの情報でサンプルプロジェクト500本のコードレビューをやると情報を流していましたが、500ではなく1桁増やして、5000本持ってきました。

闇雲にレビューしない。戦略をもってレビューする。
全部やれ、は工数が非現実的。
1000万行のコードレビューはほぼ不可能。
必然的にサンプリングする必要がある。

これからお見せするやり方は、必ずしもフィットしない可能性はあります。
ただ、何かの役には立つかも知れません。

実際の流れは以下。

- ・受領：プロジェクトQCD状況確認
- ・測定：定量データ測定
- ・仮説立案：品質状況予測
- ・検証&欠陥検出：目視
- ・可視化：定量&定性データ集計
- ・施策立案：projectへフィードバック

まず、5000本のソースコードをRational Software Analyzerにかけて、計測します。

欠陥が多そうな箇所は経験ではなくデータから取る。
”位置”と”種類”を取ります。

○全体像を見る

手作業：定量：LOCはずれ値、本数、LOC/本
定性：TODO、コメント率、IF-ELSE、Public-Private、
テストコード？FW？
ツール：定量：バグの数、傾向、位置と種類
定性：依存性

自作ツール「Code Metrics Evaluator」を使います。

順に対象を絞っていく。

○定量のコード量

プログラムの本数は約5800本。総行数は600万行。
1本あたりのコード量はさほどない。
コピー率というのが検出できます。
コピー率は「コピーして、クラス名等を変更したもの」と
判断している。
これがあると、とあるコード変更の影響範囲は
「コピー元」と「コピー先」の2倍になる。

全体の中で1つだけ2万行あるものがありました。これは気
になりますね。
多いものは複雑に作られている。よってまずは初歩的な間
違いが無いかを確認する。

サイズの情報から、バグが入っていそうな位置の手がかり
を得る。

○コメント率

原点に近い方がプロジェクトの大きさ。
コメント率がバラバラになるのは、プロジェクトの統制が
取れているかどうか。
コメント率が多い＝実行行が少ない。
コメント100%のものはがワだけ？実行行が一番
0%のものは、一回だけ実施するコード？テストコード？

分布図上、上部20のソースコード、下部20のソースコード
を目視で確認してみましょう…
といったような形で「見る」ターゲットを絞る

○IF/ELSE

IFの数が800 (!) これどうテストすんの？w

比例しているような点があると、何か自動でGenerateして
いないか？ということが考えられる。
IFしかないもの＝ELSEが無い＝片落ちしていないか？を見
る。仕様として大丈夫かどうか？

ソースコードの量が多く、コメント率も多く、IFも多いも
のをピックアップしてみた。

5541行ある。それを開いていろいろな単語で検索してみる。

「TODO」が多い＝仕様が煮詰まっていないように見える
「catch」を見る＝例外無視？と不穏な言葉がある
「&&」を見る＝テストケースが複雑になる。大丈夫か？
以上、以下のいう日本語が無いのにIFがある＝どういうこ
と？
「null」の場合、nullでない場合、といのが混在＝保守性
が悪い

○サンプリング抽出の基準例

パターンがある。基礎データからの仮説立案。

例外無視があるというのは…

「細川さん、バグマスターデータベースから、ちょっとデ
ータ送ってください」

「え？w」

ここでバグマスターデータベースの発案者である細川さん
にプレゼン中にデータを要求w

例外無視が多い＝調査が足りていない、仕様が固まってい
ない、ということが傾向としてある。

全体を俯瞰すると、

- ・ 一本あたりのものが多い、コメントのばらつきが多い、
TODOが多い＝仕様が固まっていない
- ・ フェーズアプローチが五月雨になっている
- ・ nullチェックが多いなら、何かしら共通化が出来るの
では？
- ・ catch：例外無視が多い＝調査が足りていない、仕様が
固まっていない。

こういった特徴があることがわかる。

そもそも、プロジェクトがコントロールできていないかも
知れないが見積もりは大丈夫か？

一断定はできないが、においがする。

そのまま放置されるとプロジェクトが停滞したりする。

2 3日、欠陥の状況を皆でシェアして、情報を共有する時
間を取る必要があるのでは？と提案する。

○最後に

静的コード解析ツールの結果で、レビューした気になっ
てはいけない。

多面的な情報から効率よくサンプリングを行うことが重要
目視レビューはここから。→これから、赤ペンが出てきま
す。

今日やったことは”前座”。これから赤ペンで真っ赤にして
いく。

立てた仮説が当てはまるのか、新たなパターンが無い
か、リーダーと対話を重ねながら調べる。自分の知識としてナ
レッジを蓄積していく。成長速度が圧倒的に違います。
科学的アプローチっぽいものに。泥臭い世界から、科学や
サイエンスに近づけると思っています。

◆感想

今回発表していただいたことは「前座」ということでありましたが、とてもわかりやすく、しかも難しいことではなく、「人間が判断すべきこと」が詰め込まれた「工夫」でした。さすが、の一言です。

今年が「前座」ということは、来年は「続き」が聞けるかも知れませんね！

◆◆◆LT

恒例となりましたライトニングトークス！
なにせライトニングなので、メモれなかったところではご容赦ください！今年も道内／道外から有志が語ります！

◆和田 憲明さん

組織に対して改善は大切
明日天気がよかったらいろいろみたいと思っています。

さて。明石といえば明石海峡大橋。
巨大建造物が好きです。
世界で一番長い吊り橋です。
レインボーブリッジの5倍あります。
※主塔の展望台にのぼるツアーがあるらしい。

高いところ怖い方ー？
高所恐怖症とよく間違われますが、高所恐怖癡、ですw
この画面を見ているだけで腿の裏側がざわざわする。。けど行ってみた！

・改善ワード1

実物を見る

最初の2 3分はなんで来たんだーと思ったw
みんな一斉に壁に張り付く！
背の低い方には踏み台もあります。
淡路島側と神戸側の写真の紹介
「サービスで5分延長します」…勘弁してくれw

・改善ワード2

多様性を受け入れる
自分はそんなに好きではないけど好きな人はいます。

・改善ワード3

慣れる※帰りは違う道を通りましょう！と言われて狭い道で帰りました。

・改善ワード4

今に満足しない

建築技術を体感できる
ガイドさんのしゃべりが凄い
認定証とDVDがもらえます。

・改善ワード5

一度はやってみる

◆小楠 貴紀さん

オレ流「身の丈」開発プロセス
テスト（最後の砦）で固めよう

開発、上手く行ってます？
→あんまり行ってません

気づいたら、すでに行き詰まっていた。
原因はいろいろ。本来は分析するんだろうが
ゆっくり考えている時間などない。

〇〇には蓋をしろ。
「設計」と「テスト」で蓋をしてしまおう。

よく見るテストの流れ。
実際の現場ではほとんどできていない。
コンポーネントテスト：モジュール設計できてない

○受け入れテストを最後の砦を作る

○全機能を網羅するテストを必ず通してからリリースする
デグレが見つかる。
安心感が生まれる

レビューを増やす
テスト設計を増やす

作る前からレビュー

○コミュニケーション
適当に作ってるやつは説明ができない

できるだけ早くリスクを知りたい→その分、早く動ける
気づくと集約してきた
こんな効果が。
どんな品質で出てきそうか見える
テストの印象もよい

ただし、V字上に置いてみると
まだ穴が多い。
そこを埋めるのが今後の課題。

悩んでいたら、テストから始めよう。
できるところからやりましょう。
な〜んも、やってみりゃいいべさ！

◆小田部 健さん

マインドマップ手書き6テク

・後書き
→空のランチを作って継ぎ足す

・グループピング
→グループピングしてからそのグループに対するランチを作る

・インナーセントラル
→セントラルに入れるものを複数にしてみる

・イラスト
→マインドマップに書いてみて印象を強くする

・こじつける
→無理矢理発想を広げるのにランチをくっつける
グループピングと似ているが、連想ではなく、結合する、
といった形で使う

・その他
→楽しくやるといい。音楽かけたり、イラスト書いたり
道具にこったり、書き方を発散と集約と分ける

◆鶴谷 俊之さん

システム開発に必要なことはすべてスポーツから学んだかも。

仕事で言われることをスポーツ経験に照らして考えてみる
という俺の流儀

プログラミングの基礎は同じ。
アセンブラがかければjavaもすぐかけるようになる
と上司がよく言う。
→ぶどうの基礎は同じ。柔道が強ければ空手もすぐ強くなる
→スポーツの基礎は同じ。マラソンが走れば水泳

スポーツ：使う筋肉、身体の操作が違う
言語：問題の切り方が違う。

マイケルジョーダン
野球では打率2割。

マラソンと水泳じゃちょっと極端なんじゃ？
→ラケット使うから、バドミントンができればテニスもすぐ上手くなる
→バドミントンのやり方をすると、テニスだとホームラン

なまじ似ている方が帰ってアジャストが難しい。

プログラミングの基礎は同じ。アセンブラがかければjavaも上手くかける
→んなことねーなw

プログラムがかければテストなんて誰でもかけて当たり前。
→んなわけねーよ。

上のようなことを言う人は
自分ではできちゃう人
自分じゃできないけど言うだけ言っちゃうひと

名選手必ずしも名監督ならず
でも、実は一理あります。

反復練習なくして基礎体力なし。

◆内藤 さん

新宿からきました。

製品開発

仕様理解の齟齬

開発担当者とステークホルダ間で発生する開発後期における仕様理解の齟齬

→原因

両者のスキルセット、目的を達成するための視点が異なることに起因する

つじつまがあわなくなる。

ではどう解決するのか？

→複雑なコトをシンプルに

構造ベース→仕様ベースの変換

仕様ベース→構造ベースの変換

システム概念図にマッピングするだけなのかも知れない。

Ravenの紹介

プロトコルスタックのテスト

各フィールドごとにテストケース設計

プロトコルはたくさんあるが、それぞれにフィールドを作る。

Ravenはシンプルに実施する。

・開始ボタンを押すだけ。

それぞれのプロトコルに対して単体テストを実施する

・システム概念図にマッピングする

・シンプルにRavenを使ってしてみる。

◆中野 直樹さん

モナリザについて

横浜に住んでいます。

普段はWeb系のテストでテストリーダーしてます。

テストプロジェクトをどうしているのか、計画と状況を見てほしい。

もっと興味を持ってほしい。

テストカテゴリに分けて

テスト設計、実施を行う。

MONALisa(モナリザ)

Mindmapを基本としていて、表現。かつAgileに。
Lisalは「アジャイルテスター」のLisa Crispinの頭文字です。

あと、微笑みを絶やさずにプロジェクトをやってもらおうと。
そんな気持ちをこめています。

モナリザの作法

ホワイトボードなどにテスト計画の概要、要点をマインドマップの形式で書き出す

テスト設計の際はそれを眺めながら実施

設計が全部終わったらホワイトボードの上にレイヤー(追加のマグネットシートや紙)を貼る。
実施フェーズでは進捗に応じて各テストカテゴリの実績を書き出す

どんだけやってるかわかる。
誰が苦勞しているかわかる。
皆で調整しあって協力していく

他のプロジェクトの人からたくさんコメントをいただいた。

色の種類にこだわる
デザインにこだわる
アバターにこだわる

◆水野 昇幸さん

テスト設計コンテストに参加してみた
苦小牧出身です！
JaSST'11 Tokaiのテスト設計に参加してみました。

題材は話題沸騰ポット。
今回は一部のみ。
テスト視点で設計を見直した。

今回の参加はみんな開発。
左上が要求仕様書

・3色ボールペン法
→仕様の理解、仕様傾向の把握、

・スープカレーもどき検定
状態わかりづらいよね
条件のロジックがわかりづらいよね
仕様のどこがおかしいかを明確にした。
性能やユーザビリティがなかなか書かれない。

機能項目に合わせこんで、交点を導きだす
指摘表の作成
状態遷移をもう少し明確にした。

原因結果グラフにてデシジョンテーブル

- ・仕様強化をする
 - ・テスト向けの機能一覧を考える
- 最初からテストを考慮して機能を考えた方が楽だよな
- ・ここから新しく仕様書を作成
- そこからテスト設計！

続きはJaSST'11 Tokaiにて！w

◆佐々木 さん

効率化のためのチームワークとは、を考えました。
・チームワークとは
ある目的を達成するために集まった2人以上の集まり

グループ：共通の性質で集めた仲間
チーム：目的の為に集められた団体
グループは足し算、チームはかけ算

互いの強みを生かす。弱みを補いあう。

サッカーに例えると
芝整備士
監督
選手
マネージャ
審判

こんなテストチームは嫌だ

- ・独り言が多くなる
- ・帰れない
- ・会社にこない
- ・上司が切れる

改善するためには

- ・お菓子を差し入れ
- ・飲みを誘う
- ・サクル活動
- ・挨拶
- ・話すときにはめを見る

意識共有をする

- ・理念が必要
- ・意識を定義することにより、流動を防ぐ

得られる効果

- ・ストレスを低減できる
- ・テスト技法やテストツールがより行かせる
- ・早期アラートにより問題解決につながる

まとめ
組織活動である以上、チームワークの上に成り立っているより生かしていけるのではないかと。

◆近美 克行さん

バグ票ワーストプラクティス検討

笑えるバグ票

しかも壮絶なヤツ

バグ票を中心としたコミュニケーション改善を考えたい

ベストではなく、ワーストから。

・なぜバグ票なのか？

ソフトウェア品質とプロジェクトチームのコミュニケーションと相関がある

・なぜワーストなのか？

ベストって使えない？なぜ？コンテキストが異なるから。

ベストを生み出す条件は

いろいろな条件がバランスした状態になっているため、特殊な条件と言える。

ベストを使えなくする方法

条件を1つでも変えるとバランスが崩れる。

ベストのベストにするためには

バランスが崩れた状態でも使えるものがよい。

ということで、ワーストを研究しよう

事例紹介

1. バグピンポン

バグ票を打ち合っではいけません

2. なかなか収束しない

「ひどいでグレードです」→コメント炎上
感情を込めてはいけない。

ぜひ、みなさんと共有してみなさんと共有していきたい。

結果をJaSST'11 Tokaiでポスター発表します。



◆◆◆初心者向けワークショップ

テスト設計の若葉マーク初心者にテスト設計を体験してもらうためのワークショップ。

スマートフォン向け「そろばんアプリ」でウケを狙え！割り勘ツール♪

■まずは TEF 道のご紹介

正式名称は「TEF 北海道ソフトウェアテスト勉強会 (Testing Engineer's Forum HOKKAIDO)」

2006 年から JSTQB テスト勉強会として発足。北海道のアツき参加メンバーは 10 名程度、隔週 1 回 2h 程度で開催。スープカレー表マトリクスを考案したテストコミュニティ。

■テスト設計対象

「なまら そろばん」

スマートフォンを使って、アナログなそろばんを再現してみるお遊びアプリ。ワークショップのペルソナ像でお馴染みの「中山由信」さんは、今回、飲み会の割り勘でウケを取ることを考えているようです。

■ワーク1: プロジェクト情報と要求仕様書からテストケースを作ってみる。

まずは普段自分が作成しているようにテストケースを作成します。「テストしておいた方がよいと思う」一部についてテストケースを作成してください・・・ということなので、そろばんの基本操作についてテストケースを作成しました。

用意されているテストケース記入シートには

「ID」「事前条件」「操作手順」「期待結果」の項目があり、これを埋めていきます。

普段何となく機能仕様書などを見て上からテストケースを作成していたので、今回も普段通りに作成してみました。本当にコレでいいのか？ドキドキしながらの作業です。

■ワーク2: プロジェクトの背景をもとに「テストで保証する内容、範囲」と「重点的に確認する機能」を書き出します。

ここでは「機能単位でのテスト」「簡単な計算ができる」ことを保証することにしました。重点的に確認する機能はそろばんの基本操作です。

個人での目標設定が終わると、グループディスカッション。

4人1グループになって、各々考えたテストケースや目標を持ち寄って、グループでどんなテストケースを作成するかを決めます。

私のいたグループではテスト目標として以下の内容が挙がりました。

<保証すること>

- ・書かれている仕様が満たされていること
- ・そろばんの基本動作を保証する
(アプリ起動、珠が動く、タッチ、フリック、連動など)

<保証する範囲(やること、やらないこと)>

- ・システムテストレベルのテストをする
- ・開発テスト終了時に実施したであろうテストは行わない。
- ・総合テストレベルの動作を確認する。

<重点的に確認する機能>

- ・割り勘アプリとして使えること

重点要求仕様の検討ということで重点的に確認するのは「そろばんの操作の確認」することになりました。

目標設定をしたことで、「どういう目的でどこまでテストするか?」は見えてきましたが、要求仕様書から「【何を】【どのように】テストするか?」はまだモヤモヤしています。

そこで要求仕様書を見直してみ、散らばっているキーワードを整理します。こうすることでこれらの内容が見えてくる!ということでした。

■ワーク3: キーワードを探して整理してみる。

キーワード探しの一例として、

- ・3色ボールペン法

キーワード整理の一例として、

- ・状態遷移図

が紹介されました。

まずは個人ワークで考えます。

仕様書の中で「何を」すると「どうなる」のか?に着目してキーワードを探しマーキング。

そして「何を」すると「どうなる」のかをマインドマップで整理しました。(最近読んだ本に影響されて・・・)

続いてグループワーク。

個人で考えた内容を共有します。

そろばんとしての基本操作を重点的に確認するため、「操作(入力)」と「状態(出力)」でキーワードを探し、以下の内容でキーワード整理をしました。

<珠の動作>

- ・珠をタッチして上方向にフリック→上に移動
- ・珠をタッチして下方向にフリック→下に移動
- ・隣り合う珠を上方向にタッチしてフリック
→連動する珠が上に移動

<ご破算できる>

- ・本体を傾ける
- ・珠の動きに合わせて「カシャ」という効果音になる

<そろばんの表示位置移動>

- ・そろばん上部枠をタッチして左右にドラッグ
→そろばんの位置が移動する

グループで整理した内容をもとに、再び個人でテストケース記入シートに記入していきます。

<珠の動作>

- ・珠をタッチして上方向にフリックする
→珠が上に移動する
- ・珠をタッチして下方向にフリックする
→珠が下に移動する
- ・隣り合う珠を上方向にタッチしてフリックする
→連動する珠が上にフリックする

<ご破算できる>

- ・本体を水平0度または水平30度を超えて傾ける
→傾けた方向に珠が全て移動する
→珠の動きに合わせて「カシャ」という効果音になる

<そろばんの表示位置移動>

- ・そろばん上部枠をタッチして左にドラッグする
→表示しているそろばんの位置が左に移動する
- ・そろばん上部枠をタッチして右にドラッグする
→表示しているそろばんの位置が右に移動する

■まとめ

テスト目標を定めてキーワードを整理する。なるほど。キーワードを整理してみると色々気づくことがあります。そろばん上部枠をタッチしてドラッグした時は、ドラッグの動きに合わせて1列ずつ移動するのか、8桁単位で移動するのか、書いてない。本当に1列ずつでいいのだろうか? などなど。見えてこなかったものが見えると、目がキラキラしながら話も弾みます。

■テスト設計ってどこまで？

テスト設計とは何処から何処まででしょうか。

- ・「テスト計画」・・・保証範囲と重点機能
(ワーク2)
- ・「テスト分析」・・・キーワード出し
(ワーク3)
- ・「テスト詳細設計」・・・キーワード整理
(ワーク3)
- ・「テスト実装」・・・テストケース作成
(ワーク4)

ワーク1～4を通して、テスト計画～テスト実装までを体験してきましたが、テスト設計というのはワーク2～3なのだそうです。

仕様書からテストケースを丸写しするが設計ではありません。

何を何処までどうやって確認するのかを明らかにするのがテスト設計なのですよ。

整理することで気づき、見えてくるものがあります。

整理するにはどうしたらよいかを今回のワークを通して学びました。

短時間のワークショップでしたが、こう考えると実業務で漏れていることはいっぱいあるのではないかと不安を覚えました。

初めてじっくりテスト設計と向きあってみて、何をどうしたらいいのかよくわからず、テスト設計という言葉に黒いモヤが掛かっていましたが、今回のワークショップを経て、遠くにキラリと光る一筋の光を見た気がします。

3色ボールペンや状態遷移図というキーワード以外にもどんな方法があって、どういう時に有効なのか？気になりました。もっと色々な方法を勉強し、そしてそれを何処かのテスト設計で活かしてみたいと思います。(いのみん)



【なまらそろばん】のプロトタイプですw

◆◆◆経験者向けワークショップ

初心者向けワークショップの題材と同じ「なまらそろばん」のテスト設計をチームで行い、その結果を発表する、というワークを実施しました。

各自がテスト設計をしてドキュメントを持参してくること、という宿題がありましたが、各自で実施粒度がさまざま、なかなか難しかったです。中には凄く分厚い資料を作ってきた方もいらっしゃいました。

○得ていただきたいこと

テスト設計をよりよく行うためのノウハウやヒント

他の方の成果物を評価することで、自分の考えを客観的に確認できる

チームで仕事をする

現在一人ですべてやることは少ない

題材提供者を決める

その方のものは印を定義

それ以外の方の印も定義

最終的にどこに注視するかを明確にする
行き来しながらやるのが重要。

最終成果物

分析結果の考察とまとめ

→発表

○役割

題材提供者：平井さん、山地さん

リーダー：平井さん

タイムキーパー：コヤマン

記録係：神田さん

そもそもの題材は皆さん共通で、各自で考えることが違うことが楽しかったです。

そして、スーパーカレー表に当てはめ直すのが難しいワークでした。

・どこを除外するか

・どこを強調するか

ベースをもとにしたうえで、さらに皆さんの意見を入れながら、という形で進めました。

もう少し時間が欲しい！もっと語りたい！
そう思うワークでした。

■発表：5班：メガネ軍団

テスト目的：使用性を重点的にしましょう。

まあ、このアプリは無料だよね

使用性についてブレイクダウン

テストすること、しないことを分けて考えた。

「そろばんのばちばち感」大事！

自分の結果とともにどうか、を検討した。
OSの種類を横に追加

機能ベースではなく、目的にフォーカスできたのはよかった。

使用性に決めたポイントは？
誰が使うの？一般ユーザー向け？
クリティカル性は低い
そろばんっぽくないと使ってもらえない。

◆講評

良かったところ
・何をテストするか？を共有したこと。
・書き方として、後からの追記をしたのはあとでどうしたのか、がわかりやすかった

■発表：8班：ばんばんと愉快的仲間たち

テスト目的でけんけんがくがく。
システムテストだよね？どういう環境でやるのか？
iOSでもAndroidでもやるんだよね？
といったところを見た。

インストールを重点においた。

酔っぱらいのおっさんが割り勘に使うよね。
どのスマホでも、酔っぱらいのおっさんでも使えるようにした。
「そろばん感」は大事だね。
他のアプリ競合はやろう。

単機能のテストはもうやめていいよね。
といったこと。

連続テストはいらないよね。

機能性を見る
「そろばん感」
すぐ使えるようなやり方

重点要素

サブ画面は重視しない
競合系はかならず必要

◆講評

そろばん感という表記の上に「性能」という名前が書いてあるのは？
→そろばんを触ったときの操作感。

そろばん感という言葉を使うのはとても良い。
テスト目的をかなり具体的にしている。
テストフェーズを定義したのは良い。
スコープを定義するのはとても良い。

テスト屋にコミュニケーションはとても大事
ベテランがとてもよかった。熱い議論がされていました。

○最後に細川さんから一言。
皆さんの議論をしている姿はとてもよかった。
「品質屋さんは皆で叩き合う」ということを覚えて帰ってほしい。

◆感想

かなり時間がタイトでしたが、短い時間ながら濃いワークができたと思います。各班で特徴が出て、色々と参考になりました！

◆◆◆招待講演

「病気にならないための知恵」

村上 智彦氏(夕張希望の杜)

分野が全然違うようなので(私は地域医療をしています)少し緊張しています。

皆さんが「医療」と聞いて、よく聞くのは
高齢化(60歳以上)などが話題かと思います。
高齢化は23%(世界一です)夕張は44%で日本一です。

今後、日本全体で高齢者の割合は40%になる。
1割以上は認知症になる。
今のインフラだと対応が間に合いません。
それを試行錯誤しながらやっているのが夕張です。

高齢化がどんどん進んでいって、病人がふえていってどう
今までのやり方で対応するか？
→私は難しいと考えています。

ここで夕張と先生の紹介。
そもそも炭鉱病院と呼ばれていました。
鹿鳴館です。今はフレンチレストランになっています。

こないだ、第七師団の見学に行きました。
夕張が財政破綻したのは聞いていると思いますが
夕張市ってどこだかと思いませんか？と言ったときにわからないことが多い。
夕張は札幌から一時間くらいです。

同じ場所をずっと撮り続けています。定点撮影といいます。
どんどん壊されてしまうので、できるだけ残しています

北海道が好きです。
面積は日本一、食料自給率：200%
核家族化率
オリンピック獲得メダル数出身者数
実質公債費比率(借金)
道路と橋の長さ

素材一流、サービス三流と言われている。
夕張夫妻といった自虐ネタもありますw

今日はこちらの取り組みを考えてみました。
・健康について考えてみましょう

- ・日本人の平均寿命は？
男性79、女性84。世界一です。
三大疾病を克服すると、更に寿命が残る
がん、心筋梗塞、脳卒中：7割5分
交通事故は5位、自殺は6位

○日本で一番長生きな地域は？

- 沖縄→26位に陥落しました。
- 東北/北陸…富山？→持ち家率1番。
- 東京都はイメージしませんでしたか？
→1位は長野。がんでの死亡率が最も低い。最も医療費も安い
- がんでの死亡率：大阪？
→がんでの死亡率が高いのは3年連続青森です。

僕は皆さんのことを聞いているのですよ。

○日本で一番医療費が安い地域は？

長野

○日本人の死亡原因の4位は？

- 肺炎です。年齢が上がると肺炎になり、それが原因でな
くなります。

○日本で一番医療費の高い地域

- 北海道です。100万。
- 長野は60万。
- 北海道の人がなぜこんなに医療費が高いのか。
- 長野は検診を受ける

最も県民の意識が高いところが寿命が高く、医療費が安い
のです。
昔は感染症の割合が高かった。今は生活習慣病です。

○健康とは何か？

- 値（データ）が正常であれば「健康だ」と思ってしまう
- ・全く病気が無いかたは減ってきます。
- ・でも元気です

WHOの健康の定義。

「完全な肉体的、精神的、社会的福祉のDynamicな状態
単に疾病または妙弱の存在しないことではない。」

リスクマネージメント

「先生、何かあったらどうなるんですか！？」という人が
います。だから僕はこう答えます。
「必ず何かあります！w」

交通事故を避けるためにどうしたらよい？

- 車に乗らなければいい。
- しかし不便だ！
→そこでいざという時のために保険に入り、安全運転
に心がける。
→これがリスクマネージメント

イライラする人は30%くらい脳卒中率が上がる。

検診を受ける人は受けない人より長生き。

→早期発見ができるから？

→違います。「意識の高い人が検診を受ける」んです。

高度な医療、大きな病院、大学病院がある地域の住民が健
康寿命も平均寿命も長いわけではない。

財政破綻したらかわいそうだ、とか言っているマスコミは
間違いです。

日野原先生に聞いてみました。

どうやって長生きできるんですか？

- ・食べ過ぎない
- ・運動する
- ・生き甲斐を持つ
- ・くよくよしない

MRIを一度もやったことがないので、周りがやりたくって仕
方ないようですw>日野原先生

PPK(ピンピンコロリ)運動。

生活習慣で、がんは半分くらい防げる。

現在の風邪の常識。免疫力を高めるのが良い。

- ・高熱で熱があるとき、
脱水症状が出てるとき以外はお風呂OK
- ・フィンランドでは、サウナに入れ、と教える。

世界一長生きしてるところ(日本)の習慣が一番いいに決ま
ってるじゃん。

ウーロン茶とキムチはおかしいでしょw緑茶飲もうw
日本人はカロリーを取りすぎるとダメ
ファーストフードが出来るとその成人病の割合が上が
ります。

動物性脂肪をたくさん取ると乳がんになる確率が3倍にな
ります。お魚にすると、4割減ります。

・ジャパニーズパラドックス(日本の矛盾)

実はたばこの摂取率が最も高いが、心筋梗塞は低い：理由
は大豆食品のようだ。
しかし、大豆を食べるとがんになりやすいらしい。

大豆は、海外からの輸入が9割以上。
船旅をするので、農薬をものすごい使う。
→これががんの原因らしい。

・フレンチパラドックス

肥満は多いけど、心筋梗塞は低い：理由はワイン。

・がんになりやすい食べ物

アメリカ：トマト：農薬

日本：大豆：船旅による農薬

年間1万4000人が入浴事故で死亡する。
こんにゃくゼリーは年間2人。お餅は200人。生産中止になるのは、餅じゃないの？
日本人は風呂や餅で死ぬたらハッピーなのか？w

歯周病：肥満の人は肥満でない人に比べて3~8倍

口腔ケアをしているひとは認知症は半減する。
年間36兆円の医療費を使っている。
借金は1000兆。
単純におかしいよね。

予防医療の考え方。
運動で3倍予防できる。
会話をする人も8倍予防。
生活習慣病で6倍予防できる。
どんなに専門医を増やしても、認知症は減らない。

ためして〇ッテンでも紹介されていますが、あの番組はしっかり論文を読んでやっています。

肺炎球菌ワクチン公費助成の状況
一回射てば10年間効きます。口腔ケアが重要。

肺炎球菌ワクチンを受けると、脳梗塞を起こす確率が減ります。
インフルエンザワクチンを受けた人では受けなかった人よりも脳梗塞を起こす確率が半減する。
肺炎球菌ワクチンを接種すると死亡率が実際に下がった。

仮病を使って病院に行ってみてください。
だいたい3つくらい病気言われます。

健康に素人はありえない。逃げ口上です。
歯磨きして、歯周病を治せば予防になるんです。
医療崩壊しているとか言ってるのは日本だけ。
海外から見たら単なる贅沢。

社会保険＝相互扶助の原則
・寝たきりにならないように努力することが権利に必要。
「俺は税金払っているから医療を受けられる」は嘘です。
→1961年の4月1日に決まっています。知ろうとしていないだけ。

従って「自分さえよければいい」という権利ばかり主張する集団では無理

日本の医療は世界最高の医療。
→しかし国民の医療に対する満足度は世界最低。

世界中のCTスキャンの半分以上が日本に存在する
MRIの台数も世界最高。
医師の自殺率は他の職業より3割高い

盲腸の手術費用
・アメリカ243.9万
・香港152.6万
・ソウル51.2万
・北京44.8万
・日本は37.8万。

医療の満足度は1位はイギリス
救急車は有料化すべき。

決まりを守らないで、医師にそのつけを投げてきたから崩壊しているだけ。
当直医師は入院患者を守るためにいて、実は救急で外来を見るのは法律違反。

給料をもらっているから！という方もいらっしゃいますが、医師の給料は11位くらい。1位は弁護士。
徹夜明けのパイロットに操縦してもらいたいと思いませんか？

いつでも、安く、高品質のものを受けられるのは単なる贅沢。
アメリカと比べて1/10の人数でやっている。アメリカ人は怖くて仕方ない。

高速道路の緊急電話。一台250万かかる。
1kmおきに両側にある。それだけお金をかける。
一方、お産は30万。

高速道路のあんまり使われていない電話より、お産に予算かけてないんだから仕方ない。
だから救急車でたらい回しにされても諦めてください。
選んでいるのはあなたがた自身です。
くれくれ市民が多いだけです。

医療はいざというときの支えになればいい。
高齢者の日常を取り戻すのが最大のテーマ
「俺が責任とるから」という人間も、取り方をしらない。
昔元気だったら出来たのに、それができないのが残念。
それを支える。

リスクを受け入れるのも重要。
自分たちが年を取ったらこうしたい、ということをやらせよう。
なにかあったら、は贅沢。

症状が出てから直すのではなく、予防する方がよい。
浮いた予算で人材を育成した方がよい。
インフラの整備が必要。

死生観のパラダイムシフトが必要。
死ぬことを意識して、考える。
医療は目的ではなく、手段である。

◆Q&A

Q. パラダイムシフトはどうすれば起こせるとお考えですか？

A. ショックと気づき、です。

夕張は破綻した。そのショックをきっかけにパラダイムシフトした人がいた。一旦破綻すればいい。破綻したところで人は死にませんw

ただ、ショックはやはり大きい。

目的を明確にしないと痛みがある。

できれば気づきで変わってほしい。

目標は楽しいことが重要。

◆感想

一言でいうと、本当に素晴らしい講演でした。

話の仕方、組み立て方もさることながら、

あえて専門の話をするにより聴講者がさまざまなことを想起できる

そんな内容でした。本当に聴講者の事を考えた内容だったと思います。

贅沢はいわず、予防につとめる。コツコツと予防をする。このキーワードは医療だけでなく、ソフトウェアエンジニアリングにも通ずるものだと思います。

「健康に素人はありえない」

「自分さえよければいいという集団には無理」

「いつでも安く、高品質なものができるのは贅沢」

これらは珠玉の言葉でした。

Hokkaidoの実行委員のセンスの良さに脱帽です。

◆◆◆クロージング

クロージングは熱い男

JaSST'11 Hokkaido実行委員長の本田さん。

北海道参加者のデータを表示して説明をします。

リピータは4割。

とても多くて嬉しいです。

昨年アンケート結果において

「推薦しない」という回答は一つも無かった。

シンポジウムに参加することで

「知識が繋がる」「発想が浮かぶ」

これからもよろしく願います！

◆◆◆情報交換会

ワークショップ別の情報交換会→全体の情報交換会という二本立てでした。

○経験者向けワークショップの情報交換会

発表できなかった班の発表を聞きながら題材となった「なまらそろばん」の仕様書についての突っ込みをする、という内容でなごやかに時間が過ぎました。

○全体の情報交換会

本日の講演をいただいた女性三人への質問コーナー！

・仕事をしていて、何に喜びを感じますか？

吉澤：バグを見つけたとき

小楠：機能の漏れなどを見つけたとき

はら：役に立ったと喜ばれたとき。

・開発者としてはお客様が喜んでくれたとき。

井上田としては開発者が「うおっ！」ということ。

・俯瞰と網羅とは？

俯瞰：全体を見渡す

網羅：網の目をどれだけつづすか

・お八がキ

はらさん、プロジェクトにどのように入ってどのくらいの期間やりますか？

→開発の初期段階、真ん中、終盤という形で複数はいののを理想としている。

期間としては、最短で3日間。3本並行で渡り歩いていたこともあります。

長かったときは規模にもよりますが、1週間とか。

100万行のもの等が多いので、ぐわーっとやります。

一といったところでタイムアップ！

最初から最後まで濃ゆいシンポジウムでした！

実行委員のみなさんの熱い想いと、参加者たちの積極的な姿勢が素敵なシンポジウムでした。

書いた人：WACATE-Magazine 編集部 with いのみん

JaSST'11 Hokkaido Spin-Off

TEF道プレゼンツ 脱がっかりツアー2!

■JaSST' 11 Hokkaido スピンオフ企画
TEF道プレゼンツ 脱がっかりツアーII

昨年大盛況のうちに終わった脱がっかりツアーの冒険には続きがあった。

前回のレポートを見て、今年も多くの冒険者が集う。その数なんと総勢 24 人!

さて、今年はどうな脱がっかりツアーが待っているのか?

潜入レポートを独自目線で報告する。

(ん?ダンボールは被っていたのか?・・・大丈夫だ、問題ない)

■前日のテスト熱を帯びたまま朝から元気に「遅刻現金」!!

今回もスタート地点は道庁前。TEF道の皆様が車でお出迎えです。二日酔いと寝不足を引きずりながら眠気眼で集合。前日2次会某所で盛り上がりすぎた面々が遅刻(現金)ラッシュ。

24人の大所帯は流石に1台の車に納まる訳もなく、厳正なるくじ引きのもと複数の車で移動。公平なくじ引きのはずが、朝からラブラブな二人が一緒の車だったり、テストクラスタの重鎮が集まる車があったりと、期待を裏切らない。

私が引いたくじには「じゅくちょー」の文字。

同乗者は、じゅくちょーさん、kitanosirokumaさん、s_banbanさん、koyaman2さん。

出発早々、後続車に鳴らされて「**ドジっ娘カー**」という名前がつき一抹の不安を抱きつつ、前を走るMAQ69さん車についていく。

しばらく走るとじゅくちょーが一言。「**私今何処走っているかわからないんだよねー**」

Σ(ー; じゅ、じゅくちょー。

そんな和気藹々のドジっ娘カーは一路、最初の目的地である小樽のかまぼこ屋さんへ。

■Mission1: パンロールの謎に迫る

到着したのは、小樽にあるかまぼこの「かま栄」。芸能人の間で有名になってきた「パンロール」という名物があるらしい。

ロールケーキは、巻いたケーキ。

ロールキャベツは、肉をキャベツで巻く料理。

それでは、パンロールは? 「パンを何かで」ロールする? 「パンで何かを」ロールする?

不思議な名前に誘われて購入。

この後の買い食いに備えて、1本をシェアして食べてみた。見た目はでっかい春巻き。感触はアツアツ、ふわっふわ。素材の味が美味であった! これは一度食べてみる価値はあるぞ。

小腹も満たされたところで小樽散策へ繰り出す。ここでは3班に分かれて行動。運河を見に行く班

やグルメを満喫する班もある中、**私が選んだのはスイーツ班。別名、がっかり班**である。

「脱がっかりツアー」と銘打つのであれば、まずはがっかりしないと始まらない!

(真の漢ならばまずはそこからであろう?)

■Mission2: まずはがっかり!そして脱がっかり!

スイーツ好きながっかり班が向かったのは、「北のアイスクリーム屋さん」という知る人ぞ知るマニアな小樽運河のアイスクリーム屋。



「変わったアイスがいっぱい!!」の文字は伊達ではなかった。メニュー表には北海道ならではのラインナップ! 「じゃがバター」「うに」「イカスミ」等・・・



がっかり班のチョイスは、「うに」「わさび」「なっとう」「コエンザイムQ10」

(ここでバニラ等と軟弱なことをいうものはいないだろうな・・・違うか?)

そんなものを選ぼうとするものはホントに「困った娘です」(左下)「・・・やれやれ」(右下)



順調ながっかり具合。



がっかりバロメータ (10段階▼ががっかり具合)
▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

次は小樽スイーツの王道「LeTAO」フロマージュ。イートインをしようと近くの LeTAO に寄ったのですが、お目当てのフロマージュはイートインできずに他店舗を紹介される。さらに加算されていく、がっかりバロメータ。
▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

着実にがっかりを積み重ねつつ、道中ガラス工房で鏡餅の製作現場を覗いてみたり、酒屋さんで物色してみたり、がまぐち屋さんを見てみたりと寄り道しながら、いざもう1店舗の「LeTAO」へ。(店先にいたパンプキンカチューシャを着けた小柄なお姉さんを↑中央の人がナンパしていたのは伏せておこう)

念願のフロマージュ♪
男性5人と女性3人でそれぞれのテーブルに着く。きゃっきゃ、うふふのスイーツタイム。



もちろんここで脱がっかり！！
がっかりバロメータ
▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼
(ちゃっちらーん☆)

当初の目的を無事に達成した、がっかり班はここでタイムアップ。かま栄に再び合流すると、焼きホタテを堪能したグルメ班などの話を聞いた。(ち、ちっとも羨ましくなんかないぞ。・・・ごっく)

各班が揃ったところで昼食の「海パン工房」・・・
いや、「海鮮工房」に移動。



北海道グルメといえばおいしい海鮮！
海鮮丼やいくら丼、てっぼう汁に舌鼓。



焼きたてのほっけとイカの丸焼き。
(やっぱり本場の味は違うなー)



海鮮を満喫した一行はここで二手に分かれた。
五色温泉巡りをする「癒し班」と、ニッカウヰスキーを堪能する「酒豪班」。
(もちろん漢は黙って酒豪班！(キリッ 何故か、女子率が高かったな。うん。))

■Mission3：ウヰスキーの原酒を堪能せよ！

海鮮工房から徒歩で行ける距離に「ニッカウヰスキー工場」があった。



あいにく昼食後に雨が降り始め、傘を差しながらの蒸留所見学。
ウヰスキーや酒樽の製造工程を説明した展示が敷地内にあり見学可能。敷地内が既に馨しいアルコールの香りが！
(ん〜、いいにほひ♪)

ウヰスキーやブランデー、アップルワインを練りこんであるチョコレートが美味しかった。
(ホワイトチョコが嫌いであれば、甘いアップルワインがオススメだぞ。)



こちらはニッカウヰスキーのヒゲおじさんでおなじみの「キング・オブ・ブレンダーズ」



有料試飲コーナーでは折角なので原酒を頂く。
オレンジ風味という説明書きに惹かれてチョイスしたのは、「ピーチ&ソルティー」♪
オレンジ風味なのにピーチ？・・・甘いのを想像して舐めてみた。
ぺろっ

ん？・・・！！・・・☆%▼#・・・ぐはっ

悔りがたし「ピーチ&ソルティー」！オレンジはどこにいたのか分からない。



可愛い名前に気を取られちゃいけない。
スモーキーな大人の味。
(ピーチとかオレンジと言っているお子様は遠慮したまえ) ※解説：ピーチでなくピーティですw

シングルモルトが苦手な人は無料試飲コーナーが別にあって、お酒以外にりんごジュースなども楽しめる。

お気に入りはやっぱりアップルワイン！w
(ん？だ、誰だ？今、お子様だと言ったのは？)

酒豪な面々は原酒を購入してご満悦。

■Mission4：上手い酒には上手いつまみ。

蒸留所をあとにして雨の中車で向かったのは、昨年もお世話になった「南保留太郎商店」という燻製屋さん。

店員さんをお願いすれば試食もさせてくれる！
「燻製たまご」「燻製豆腐」「べったら」「鮭」等を購入。

特に燻製豆腐はチーズのように濃厚♪

今夜のつまみはコレで決まり！

(酒盛りが楽しみだぜ)

■Mission5-1：酒盛りワインを入手せよ。

試飲できるコンビニサックスのよしのみ商店では、ワインの試飲ができるそうで、ニッカウヰスキー蒸留所であれだけ飲んだのに、まだ飲むメンバー。

どうやらウヰスキーとワインは別腹らしいw

酒盛り用のワインを購入。つまみとビールも近くで買い足して Mission クリアー。

■Mission5-2：秘境の温泉を調査せよ。

酒豪たちが酒をくらっている間、癒し班は秘境と呼ぶに相応しい場所にある五色温泉へ。見よこのビジュアル。



まさに秘境の秘湯！
雨に打たれながらの温泉もなかなかオツなものよのう。

■Mission6：ジンギスカンを食い尽くせ。

ニセコの宿泊地に到着後、各々荷解きを済ませて食堂へ。

やっぱり北海道に来たらジンギスカンは外せない！夕飯のジンギスカンは地ビールと美味しくいただきました。



ジンギスカンは上手く焼けずに、一部焼肉状態w
(正しい焼き方はベールに・・・いや、裾に隠されているぞ)
お腹いっぱい満たされたら、お風呂に入ってすっきり♪さっぱり♪

ロビーでは TEF 道の皆様が会場セッティング。

■Mission7：状態遷移図(表)を身につけよ。

TEF 道プレゼンツ夜の分科会(?)
お酒とつまみを片手に、テストクラスタの夜に相応しく、某ゲームネタで状態遷移図(表)を作ってみることに。

ノートとペンで各々書いてみる。キャラクタの状態とゲームの状態が組み合わせると、結構難しい。頭を悩ませながら、あーだこーだとすバナ。その後、状態遷移図のぶっこみ企画！snsk さんが「恋の状態遷移図」を書いてみたいといい始め、ネタ的に面白いので皆で考えてみることに。最初は snsk さんの恋の状態遷移図だったはずが、気づけば Ue さんの状態遷移図に派生したりと、フリーダム！



夜遅くに UST 中継していたら遠隔地からも、激しい突っ込みがw
欲望は状態遷移図にしちゃいけないという名言も飛び出ましたww
実にアツイ議論が交わされ、解散したのは2時くらい。

■2日目の朝

清々しい朝。あいにく天気はちょっぴり曇り。朝食を済ませてゆったりムード。それぞれチェックアウトの準備をしてロビーに集合。



(うん。ゆったりムードを堪能されておる。)



(うん。ゆったり動物園を堪能されておるw)

天気良ければ羊蹄山が見られるとのこと。あいにく鉛色の雲が邪魔をして残念。

記念に集合写真をロビーで撮ろうと集まったはずが、何かか女王様に足蹴にされて喜ぶ Ue さんを皆で激写。



(状態遷移は A・B・C どれでもない気が・・・。
どれだろうか。)

さて、気を取り直して全員集合ー。



■Mission8：湧き水の豆腐を食せ。

宿泊地を離れて最初に寄ったのは、羊蹄山の麓にある豆腐屋「湧水の里」。

「すごい豆腐」「枝豆のさつま揚げ」「フロマージュドーナツ」等、様々な商品を試食させてくれる豆腐屋さん。

豆腐は滑らかで大豆の味がしっかりしている。

さつま揚げもドーナツもアツアツ♪

朝食から間もないのに、食欲をもてあます面々は試食を堪能～。



2 日目は帰りの飛行機の時間によってグループごとに解散する為、ここで一旦解散。

■Mission9：洞爺湖テストサミット！？

次に向かったのは「洞爺湖」

天気はジョジョに見方してくれたのか、雲間から日差しが♪

辺りは紅葉の美しいコントラストに覆われていて、湖と紅葉のコラボレーション。

ちょうどいい季節に来た♪♪

■Mission10：テスト進化論？を激写せよ。

湖の次は山！赤銅色の「昭和山」を観光。
今でも噴煙が？



昭和山の新山観察記録を残した「三松正夫」像を先頭にテストクラスタ進化論？の図w



(連なるテストクラスタ。知識は継承される訳だw)

■Mission11：オサルの湯はお猿の湯！？

温泉好きな MAQ69 さんの紹介で、天然オサルの湯へ。

(見渡す限り天然の猿が……いません！w)

オサルは「長流」と書く。

川のすぐ近くで沸いている温泉の為、増水するたびに整備が必要なのだそう。スコップ片手に整備中のおじさんのお話。



(かなり熱いらしい。漢は黙って入るべし！w)

■Mission12：きのこ王国で大きくなろう！

昼食は「きのこ王国」



(フランク片手にご満悦の▼様)

「きのこ入りのフランク」「きのこ汁」「きのこかじご飯」「きのこ天ぷら」と、とにかくきのこづくし♪この時期は「ラクヨウ汁」というのが貴重でオススメらしい。

残念ながらオススメを聞き逃して、きのこ汁。



(次回リベンジだ！待ってろ！ラクヨウ汁！)

■Mission13：支笏湖

最後のスポットは「支笏湖」

天気も回復してきて車からの眺めも最高。

(ぐったりお疲れで写真が・・・。すまない。)

ぱじゃま★パーティー

てすバナ語るっcha

■「そういえば、投稿戦士以外に

WACATE ファンの発信方法ってないよね・・・」

「ないなら創ってしまえばいいじゃない！」

↑ということのでっ☆

てすバナチャットルームを月1回開設していま～す☆

WACATE-Magazine の企画として、投稿戦士以外のカタチで読者など WACATE ファンが関われるイベントとかできないかなあ？・・・という案から、チャットで座談会(分科会出張所的なもの)を開催したらいいんじゃないかなあ・・・という話になりました。その都度テーマを決めてみんなで語り合おう！という企画です。チャットの内容は編集したうえで Magazine に掲載します！

ロルールは今のところ以下のとおりだよ！

其の壱：

チャットの内容は WACATE-Magazine に掲載される前提です。したがってログを保存させていただきます。

もしオフレコの発言がありましたら、その際に明確にしてください！なお、全部オフレコってというのは受け付けませんっ！！www

其の弐：

テーマに沿った発言をしよう！（できるだけ・・・）毎回テーマを決めます。そのテーマから大きく外れないようにご協力願います。

オーナーが沈黙し始めたらそれは脱線復旧のチャンスを狙っていると察しましょうwww

其の参：

悪口や誹謗中傷の類はダメよ！（冗談は、明らかにネタってわかるようにね♪）

其の肆：

対話とか論議を楽しみましょう。ROM だけ、ひたすら語り続ける、といった一方通行にならないように心がけましょう♪

次回の開催日時(まあ夜です。パジャマパーティーですからw)、テーマ、申し込み方法はこのコーナーの最後に記載します。

オンラインという特性を生かして、各地のテスト大好きな仲間と繋がりたいと思います。皆様の参加をお待ちしております～す！！

■第8回♪

2011/10/15 どうようび

この日の午後、某勉強会が開催されており、勉強会に参加した方々が勉強会後に某所に集まってチャット参戦！という事態に・・・

コヤマン：おおw

ばんばん：楽しそーwww

コヤマン：あっついw

ばんばん：でもすごそーwww

しんすく(け)さん：秋葉原パブリックビューイングよりお送りしますww

ばんばん：秋葉原がかるく分科会会場になってるーwww

先に、ルールの解説。

今回のテーマについては、「こういうことをしてほしい」とか「こんなことがあったらいいな」という誰かに対する希望ではなく、「こんなことやってみたい！」といった、自分がどうしたいのか、ということ意識して語っていただく、というルールを追加しました。

本題突入時刻 [21:45:17]

この時点で、しんすく(け)さん、yumikoさん、わっしーさん、Yukikoさん、森さん、(秋葉原パブリックビューイングにはその他の方々もいたらしいw)

編集部員 softest、コヤマン、ばんばん

ばんばん：さて、これで6人十あるふぁですな

ばんばん：今回のテーマは「WACATEについて考えよう！」でっす

みなさんにとって、WACATEとは？WACATEでどんなことをやって、どういう風に加速していきたい？そんな話ができたらいいなーと思っています。加速については、WACATEを利用して・・・といった、WACATEと関連づいている範囲で語っていただけるとありがたいです。

なぜなら、話がどこまでーも発散するからですw

softest：WACATEって、そもそもはワークショップの名前でしたが、今はコミュニティというか、想いを持った奴ら、みたいな感じがします。

コヤマン：うんうん

ばんばん：そういう想いを実現する場なんじゃないかな、と・・・個人的には思っています^^たとえば ShortShortも、Magazineも、もちろんワークショップも、そういう想いを実現する場として、WACATEファンの皆さんに活用していただけたら、と思っています。はい。

で、今回は、皆さんがやってみたいことって何だろう？が聴きたーい^^

ばんばん：その前に、かるく、「みなさんにとって WACATEとは一言で何？」をきいてみてよいですか？

今回人数が多いし初参加もいるので、自己紹介的に♪指名するより、みんな勝手にかいていいやw

ここでなかさやさん、編集部員うえだ Join!

しんすく(け)さん：「ライバルを見つける場所」

softest: ライバル!
しんすく(け)さん: softestさんは倒すべきボスですww
softest: 僕はまだカメハウスで修行中~
yumiko: カメハウスって何でしょう??
コヤマン: 亀仙人の家w
softest: たとえですー。まだまだ実践で使えてないかなあ
と思って、ドラゴンボール的に表現してみました。

わっしー: **熱い人たちがいっぱいいるところ。**
森 龍二: 僕にとっては**楽しい場所**です。テストって裏方っ
てうちの会社ではとらえられてるんですけど、**創造的な作
業だって気づかせてくれた場所**ですね
Yukiko(Youxizi): **自分の成長につながる失敗をできる場
所**
yumiko: まだ1回しか出てないですが、前は**次に考える
ことの元ネタ**になりました。インシデントレポートから始
まって、いろいろなことを考えて、**考える範囲が広がるき
っかけ**になりました。
ばんばん: 私は・・・**チャンス**をくれるところ ですね。
まあその前からチャンスはいただいていたのですが、やっぱ
り実行委員になった点は大きかったです。
コヤマン: 僕にとっては、なんだろうね。やはり**皆で成長
する場**かな
softest: **スイングバイ**

きよんさん、参戦!
秋葉原パブリックビューイングで歓声があがったとかww
w
しんすく(け)さん: きゃー!!!

きよん: こんばんは!ぴょん!
きよん: そんな歓声とかw

コヤマン: あとは、なかさやときよんさん、かな?
なかさや: もぐもぐ。
しんすく(け)さん: まじでくってるよww
コヤマン: 食ってても書けw「自分にとってWACATEとは今
んとこ何か?」
しんすく(け)さん: 「今んとこ、なの??ww
わっしー: いまんとこw
yumiko: 未来はナシ?
森 龍二: なかさやさんは今くってます
なかさや: ごちそうさまでした。
コヤマン: いまんとこどう思うか、でいいのでは?と思
います。未来に通じるもの、であれば「未来に通じるもの」
でいいのでは?と。
なかさや: WACATEとは、**始まりの場所**です。
きよん: えっと。なにの?
なかさや: いろんなことが、WACATEから始まりました。私
は
yumiko: どんなことでしょうか??ききたい!!
コヤマン: 例をひとつ!
しんすく(け)さん: いろいろってなに!!!
なかさや: 勉強会を、会社以外でやることとか。思いや、
目指すこととか、熱さレベル?みたいなのが、こんなに近

いんだーって
しんすく(け)さん: おお
yumiko: おおーー

秋葉原パブリックビューイングでは「いいねー」の嵐がw

なかさや: (^_^)v
yumiko: 始まりという意味だと、私にとってはテストや品
質のこと、全ての始まりですー。

ばんばん: うえださんときよんさんのコメントって、見落
としてます?
きよん: 僕はまだ言ってないです><
ばんばん: やっぱり、楽しいとか仲間がいる場、成長した
り視野が広がったりする場、というのが多いかしら?
コヤマン: と思います
うえだ: でも、WACATEは、初めて参加した外部の勉強会な
ので、んー、思うところはいろいろありますねえ。
んー、難しいですけど、WACATEから離れたら、自分の一部
がカケる感じがします。WACATEは、**自分を構成する一部**
ですね。
ばんばん: おおお
Yukiko(Youxizi): カッコいいー
コヤマン: アツツイ
なかさや: カッコいいー
しんすく(け)さん: なんで?
なかさや: WACATE背負って東京マラソン走って欲しい>う
えださん
うえだ: あ、WACATE Tシャツきますよ
森 龍二: うえださんフルだそうですね。

ばんばん: 夏初参加だったきよんさんはどうですか?今思
いつくものが無いようでしたら、この後みんな話したあ
とで、こうかなー、という回答がでたら教えてくださいね
♪

きよん: えっとー
しんすく(け)さん: きよんさんききたい!!
きよん: WACATEとは、**ソフトウェア開発についての最適化
を考えさせてくれるキッカケ**、ですかね
ばんばん: おおお(こればっかw)そうでうよね。きっかけ
を得たという話はよく聴きます。
しんすく(け)さん: 素敵
しんすく(け)さん: 正しくキッカケ、ですね
softest: きよんさんのテーマは分科会の候補ですね
きよん: ありがとうございます!>softestさん
コヤマン: いいですねー^^>分科会

いのみさん、参戦!

いのみ: (ガチャ) こんばんわ。
きよん: こんばんはー
いのみ: お!リーダ?
きよん: リーダwww
いのみ: だってリーダじゃないですか!<夏
きよん: もう半年前ですし!リーダとかって柄じゃない

です>< **ただのうさみみです**><

なかさや: 「ただのうさみみ」ってすごいwww

いのみさんときよんさんは、WACATE2011 夏で同じ班でした。
きよんさんがリーダーとなって 2 日間がっすりワークショップに取り組んだ仲なのですw

しんすく(け)さん: いのみちゃんの回答待ち。

いのみ: えーっと。はい。今考えてます。

いのみ: うーん。前回の振り返りで「地図」や「コンパス」というキーワードが出てきました。そういうことで言うと、**大航海に出る船**かもしれないです。

WACATE では仲間も出来たということでも・・・(すみません。某マンガの見すぎです。汗)

コヤマン: w

ばんばん: そうですね^^ (て、マンガの見過ぎに対していったんじゃないよw

そして次の質問へ・・・

しかし、回答に対して展開させようとする間にみんなが勝手にしゃべりだし、話題が複数並行して・・・大変なことにwww**その場の交通整理は諦めましたw**以下、ある程度整理した状態でお届けします♪

ばんばん: 仲間がいる場、キッカケを得る場、成長する場・・・そんな WACATE って、まあ実行委員が企画しているところはあるのですが、実際は参加者だったり読者だったりといった、「WACATE ファン」が作りあげているものだと思います。

そこで、皆さんに次の質問です。

ばんばん: みなさんは、WACATE をどうしたいですか？

WACATE でこんなことをやってみたい！でも、よいです。

コヤマン: 「自分が何をやりたいか」って視点がいいね

ばんばん: 最初に言いたいひとつ！

しんすく(け)さん: おれ

きよん: はい

しんすく(け)さん: いちばん、きよんさんにゆずる！

きよん: 負けたorz

コヤマン: w

きよん: え、いいの!?w

しんすく(け)さん: うん

ばんばん: はい。じゃ、きよんさんから。

きよん: **自動化！をやりたいです！**

コヤマン: イイネ！

しんすく(け)さん: やりたい！！

森 龍二: いいと思います

コヤマン: 自動化というテーマで、だよな？

きよん: あ、ですです。

きよん: あと、アジャイルにたいするソフトウェアテストプロセスの最適化とか！

softest: JaSST 九州の招待講演が自動化の話ですよ？

きよん: JaSST 九州あついな！！

しんすく(け)さん: ゆもつよさんか！！

コヤマン: 自動化もいくつか種類あるし、今後は増えてい

くよねー ALM も用語が一般的になってきたし^^

きよん: TFS の事例をすごく聞きたい毎日です><

しんすく(け)さん: ALM は広いはなしだよな

ばんばん: 具体的にきいていいですか？セッションがやりたい？一緒に考える仲間をつくりたい？記事を書きたい？

きよん: え、あれ？えっと、僕は大きくお話できないと思うので、みんなで考えたいです。事例があれば発表も聞きたい！とかですね。

ばんばん: ふふ、そこは大丈夫ですよ。WACATE は、勉強したことをそのまま発表するのもアリですよー。例えば Magazine のレポートなんかはそんな感じですよ

なんか、きよんさんがやりたいことを実現するための仕組みってあるといいですね。

きよん: 仕組みですか？

ばんばん: 仕組みっていうのは、WACATE ファンがこういうのがあったらいいなーと思っていることを、自身を含めて仲間を実現するための仕組み、という意味です。

ばんばん: 自動化の話なんかは、セッションできるといいねって話は (WACATE 実行委員会でも) できているんですけどねー

しんすく(け)さん: やりたーい

きよん: wtkk!

森 龍二: 自動化できると明らかに楽になることがなぜできないか、というのはちょっと興味あったり

softest: きよんさんの自動化と同じ話かわかってないですが、あきやまさんも自動化やりたいなあとってました。

きよん: すばらしい！

yumiko: 自動化しやすい条件とか、制約になることとかから整理したいです。

ばんばん: たとえばワークショップなんかだと、実行委員だけではなかなか実現できないところがあったりするし、実は参加者もふくめてみんなで考えることで、実現できることってあるのかなー、なんて個人的に思うのです。

ここで、秋葉原パブリックビューイングでは、やりたいことを言うとセッションを持ってください、と言われているように聴こえちゃうね、という意見がでてました・・・誤解しちゃうようなことと言ってごめんなさい m(_ _)m そういう意図じゃないのよーw

きよん: ワークショップって難しいですよ。。主催してよくわかりました。。じぶんがやっているイベントとかだとどんなことをやってほしいかは今のところ懇親会とかでしか聞けてないですねー

きよん: 自動化の目安とかなんとなんとかって話はプログラマーさんが大好きな界限なのでそこらへん巻き込めると面白いと思ったり思わなかったり

softest: プログラマーが大好きなのは、自動化の方法で、テストエンジニアが好きなのは、自動化の効果最大化、かなと思いました。なので、融合できるといいな

きよん: そしてそこがアジャイル QA だろ！！！！と思っ
ています w

yumiko: 「自動化する」にはどんな作業や役割があるのか、効果が出やすいのはどんなところなのか、どんなスキルが必要なのか、などなど WACATE でまとめられたらおもしろそう。

きよん: そういう意見は自動化好きなエンジニアにどんどん話しかけましょう

yumiko: はい。ぜひぜひそういう話をしたくて、そういう場にも出て行こうとしているところです

きよん: 東京であればまずは Shibuya. trac や Jenkins 勉強会がいいと思います!

softest: この前は TDDBC で一緒にしました>きよんさんと

きよん: TDDBC そうでしたね! たのしいイベントです!

yumiko: コーディングがかなりできないといけなような、敷居の高さを感じてしまうのが正直なところです

秋葉原パブリックビューイングでも、新しい場のイベントなどに参加するには、なかなか雰囲気になじめなくて、ぼん、と入りにくい、という話題に。

きよん: **Shibuya. trac や Jenkins 勉強会はワークショップではないので別に大丈夫ですよー**。わからないとしても普通に質問で「こういうのってどうにかできるのですか?」って聞くだけで彼らはきっと一時間近く議論をやめないレベルで楽しんでくれると思いますw

わっしー: いいなあ。

きよん: 新しいイベントに参加しやすくするのはやっぱりそのイベントに出入りしている人と一緒にいてみるのがいいですよ。僕も WACATE は川西さんと hiroise さんがいたので参加しやすかったです

秋葉原パブリックビューイングでは、勉強会にもともと参加してるメンバーが初参加のメンバーに気を使えるかどうかが大変かもね、という結論がでたそうで・・・

しんすく(け)さん: 何かの技術系イベントに参加して。すげーな! が半分で、大したことないな! が半分でした

softest: でも、その半分の「すげーな」から「自分やべー」になって、モチベーションがあがりますよね〜。

しんすく(け)さん: 解ります>softestさん

yumiko:モチベーションはあがります!

ばんばん: プログラマーさんは、やはりまだ WACATE を知らない方が多いのでしょうか?

きよん: ほとんど知られていないですね。。。。

ばんばん: 考えてみれば、私も他のイベントをあまり知らなかったりします。あちこち参加することって大事だよなーと思いつつ。。。反省;

yumiko: **逆に、テストの人はテストだけ見ているだけもだめだなーと最近感じました。**

ばんばん: イベントにたくさん参加すると、そのうち、「このイベントとこのイベントとがコラボすることで、なにか面白いことができるんじゃないかなあ!」という考えに至るというケースをみたことがあるのですが、そういう感覚ってきよんさんは持っていますか?

きよん: よくありますよー。

ばんばん: やっぱり、広く関わるって大事なんですね。たぶん、きよんさんは、いろんなイベントに参加されていますよね?

きよん: そうですねー。東京にいたころにたくさん参加しました!

ばんばん: **新しいイベントに参加するのは、やっぱり勇気がいらしますね。イベントで仲間ができて、そこから別のイベントに参加して・・・という連鎖が起こるとよいかしら?**

うえだ: そうですね。確かに初めて WACATE に参加したときは、緊張しましたっ

なべっち: 同じく緊張しました!

いのみ: 確かにーく緊張

わっしー: 私も夏は緊張しまくりでした!

yumiko: 初めてのイベントに参加するときは、顔見知りの人がいると、とても心強かったです。JaSSTとかSQiPとか。(この1年の経験より。)

なかさや: 初めて参加するとき、会社に仲間を募りましたwー人じゃ心細くてww

きよん: 初参加でうさみみつけることになったのはビックリでした><

ばんばん: **たとえばこのチャットルームで、今度「他のイベントについて知ろう!」みたいなのを企画すると面白いかしら?**

yumiko: あ、それいいですね!

わっしー: おもしろいですね!

しんすく(け)さん: いいね!!!

コヤマン: イイネ!

なべっち: イイネ!

きよん: このチャットを他のコミュニティにどうやって知らせればいいんですかねー

ばんばん: チャットを知らせる方法は Magazine か WACATE-Blog になりますね。

softest: SNS でも可

ばんばん: そしたら、きよんさん協力してくださる?♪

きよん: ん? 自分ですか? 自分が知っている部分であれば!

ばんばん: ええもちろんきよんさんのご存知な範囲でおしえていただければー♪あとこの人に訊け! でもw

きよん: いま自分が考えている**各勉強会に広めたい案としては「コミュニティ紹介LT枠」をつくる**とかですかねー

いのみ: マガジンで掘り下げて紹介もあり?

コヤマン: Test Topics をもっと割合増やせるといいのかなあ

なかさや: 「あなたが知ってる他のイベント紹介」ってマガジンのコーナーかなんか?

いのみ: そんな感じでもいいですね。**貴方の参加してるイベント自慢!**とか? こんなイベントがあってこんな話してます。雰囲気はこんなのー。話したい人いらっしやい♪(くらいフランクな感じで)・・・ほぼノープランですが・・・

しんすく(け)さん: これいいじゃない>貴方の参加してるイベント自慢!

コヤマン: おおーいのみさんのそれ面白そうですね
いのみ: お。拾われたw <自慢
きよん: イベント自慢いいですね!これで SCMBC 紹介したい><

わっしー: はい!11/25 です[宣伝] JaSST 九州ではポスター発表の枠で、JaSST 以外のコミュニティ紹介、というのをやります。まあ九州のコミュニティですが・・・。JaSST 九州、みんな来てね!

softest: 11/25 (金) ですね>九州

しれっと宣伝まで入ったとかw
みんな!JaSST 九州もよろしくね♪

森 龍二: テストだけじゃなくて設計の集まりってどうよってか感じで、酔っ払ってます?

きよん: 「デザインのためのデザイン」の読書会やりたい!>森さん

うえだ: 設計の集まりいいですねえ

yumiko: テストと設計を結びつけるところの話、したいです!

コヤマン: テスコラかー

しんすく(け)さん: 酒井さん呼べばいいじゃん?

わっしー: 設計ききたい。

yumiko: あとは、テストと設計、それぞれでの頭の使い方の違いとか。日科技連のセミナーではそのへんの話がためになりました。

ばんばん: あはは、だんだん雑多になってきたぞーwww

こらー、みんな勝手にしゃべるなーwww(←単なる愚痴ですwいいんですよ実際は気軽にチャットして^^);

こういうことがやりたい、という案は出ているのの、実現するためにどうしようかね?という展開にできなかったため、全部カット!w

(カットしたところも知っているのは、チャット参加者の特権です!!ｷｯ)

秋葉原パブリックビューイング会場はお開きに・・・

みんなオールなのかと思ってました^^;

ばんばん: さて、えっと・・・次いこうw

WACATE のワークショップで、こういうことがあったらいいなとかいうリクエストをききたいのではなく、自分が、WACATE を通じてどうしたいのか?どうなりたいのか?をききたい、ということです。

ばんばん: あと、WACATE をこういう場にしたい!というアツい想いも歓迎です。

しんすく(け)さん: じゃ、わっしーは?

わっしー: WACATE だけを通じて、というわけじゃないですが、年をとっても業務に追われてもいろんなことに興味を持ったり知りたいたいという心を錆付かせないような技術者になりたい。

コヤマン: イイネ

きよん: 素敵ですね!

いのみ: うん。いいですねー。

わっしー: 忙しくなると、どうしても目の前の仕事しか見えなくなってしまいますので。WACATE なたちの Twitter とか見ると、がんばろう!勉強しよう!とモチベーションあがります。

ばんばん: WACATE に参加してみて、その想いが強くなったとか、そういう想いを共有する仲間ができた、といったところでしょうか?

わっしー: はい!

コヤマン: ^^

きよん: ああ。Twitter って刺激もらいますよね。。。凄すぎて凹んだりもしますがw

わっしー: へこみます、へこみますw

ばんばん: Twitter は、情報だけでなくその人の想いも伝わりやすいですね。

わっしーさんは、勉強したことをアウトプットしている場を持っていますか?

わっしー: Q 魂ですね・・・(早く次回のセッティングをしなければ・・・)

ばんばん: いちど見たいですね。スライドw 去年の JaSST 九州で噂になっていたけど、なにがすごいのがまだ見えていないのでーw

わっしー: 社内ではほとんど勉強会開いてません。やらなきゃ!!

JaSST 九州でなにかやればいいのかw

わっしー: う、確かに。

わっしー: **社内勉強会も活発にして、自分だけじゃなく他の人のモチベーションも上げていきたい。**

ばんばん: 他の人のモチベーションをあげるには、まずは自分の意識改革から、という話を先日聴きました。他の人のモチベーションをあげるのはやはり難しいので、**自分が常にモチベーションを高くもつことで、他人に影響を与えることができる、**と。わっしーさんの元気は伝わりやすそうですねw

コヤマン: うんうん

わっしー: 空回りしてる場所は伝わってます!

コヤマン: w

ばんばん: www

しんすく(け)さん: まさかー!

ばんばん: まあ私も同じ感じですよwて、あ、ちが、わっしーさんがカラ回りしてるって意味じゃない!!!私自身はカラ回りしてるけど^^;

しんすく(け)さん: いつも元気をもらってます!!

softest: 元気といえば、しんすくさんじゃないですかー

わっしー: 確かに確かに。

ばんばん: そうですね。しんすくさんも影響力強そうですね。しんすく(け)さん: ないないー!!!でも声だけでかいー!!!

コヤマン: でもほんと、最近引っ張ってるもんね。色々。

森 龍二: いいと思う。次期はしんすくさんで。

ばんばん: さて、他の方にもきいていきましょう。

いのみちゃんはどうでしょうか?WACATE を通じて、こう加速したい!とか、こういうことをやってみたい!とか

ばんばん: あ、そか、
いのみ: ん?
ばんばん: 記事書くところからかな?
いのみ: え? www

実はこの前の週に、JaSST'11 Hokkaido のレポートを書こうよ♪といのみさんをスカウトしていたのでしたw

ばんばん: なにか始めたことはありますか?
いのみ: 始めたこと?
ばんばん: WACATE をきっかけに、なにか始めたこととか
いのみ: うーん。テストの勉強をもっとしたいと思いました。開発部に関わったきっかけがテストだったのですが、何も知らない状況で入ってしまったのです。「テストって・・・何?」の状況。でも業務をしているうちにもう少し効率的にできたら?とか、どういう観点でもう少しテストしたらいいのか?に疑問が一杯で、調べているうちにWACATE にたどり着きました
わっしー: おお~。
いのみ: そうしたら、こんな本がいいよーとか言われたり、勉強会があったりするのを見て、目下テストの本を買いあさって読んでいます。
いのみ: **テストについては俺に聞け! くらい胸を張って言える人になりたいですねー。**w
きよん: なにそれカッコイイ
しんすく(け)さん: いいじゃん!!
コヤマン: いいね^^
わっしー: カッコいい! 私もその意気でがんばろう。

いのみ: **俺はテスト王になる!**・・・嘘です。
ごめんなさい。
ばんばん: いや、もう言っちゃったものはねーw そーか、テスト王ですかー、楽しみ♪
でも、宣言するってよいことだそうですね。
softest: あと、見えるところに掲示するのもいいですよ
ばんばん: 実現するきっかけになるっていう話をききますからねー
わっしー: おお~
わっしー: **九州一の何でも屋になる! 要求分析からテストまで、何でも。**
ばんばん: おー
いのみ: そう。目標はシンプルな方がいいそうですね。そして口にするるとイイみたいです。某本に書いてありました。1人では実現できなさそうな目標でも、共有できる仲間がいると乗り越えられるんだそうですね。
コヤマン: 九州イチいいね!
いのみ: 九州にわっしーさんあり! ですね
ばんばん: WACATE で見つけられていますか? そういう仲間。
いのみ: 見つけられそうな気がします。WACATE は実に色々な分野の人がいて、俺、コレなら知ってる! 熱く語れる! っていう人がいっぱいいるよ。
きよん: いろんな分野かー

hiroise さん参戦だよ

いのみ: (えっと・・・どこまで話したんだっけな・・・)

WACATE をきっかけに始めたこと? だったかな・・・)
ばんばん: なにかあれば^^ あるいは、これから始めようと思っているってこととか。
いのみ: うーん。もっと WACATE に深く関わって、この場を活用したいなーと思います。その一歩が記事かもしれないですねw
コヤマン: ^^
いのみ: **自分を錆付かせないために。**
ばんばん: いろんなことに挑戦するといいですよね^^ 私、秋山さんのクロージングセッションの「誘いがきたら断らない」の一言で、いろんなチャンスをつかめたなーと思っています。
いのみ: まだ何もできませんが、いつか発表する立場になってみたいですね。なのっちさんの JaSST'11 CEDEC の発表を見て、そう思いました。楽しそうだと思いました。<JaSST テスト設計コンテスト
hiroise: 実行委員になってしまえば人不足なので発表者になれますよー
きよん: 実行委員人不足なんですかw
hiroise: きよんさんも超大歓迎です。確か2回参加したら実行委員参加可能だったはず
きよん: ありがとうございます! 皆さんの迷惑にならないようにいろいろ鍛えておきます><
いのみ: も、もう少し時間を下さい。(汗) <実行委員
あ。でも、いつか絶対なる! てか、なってみたい! 楽しそうだから。
コヤマン: おお^^
いのみ: あー。また変な宣言しちゃった。orz

ばんばん: 設計コンテストって某女子部で参加するとかいう話がなかったっけ・・・? 設計コンテストも、挑戦してみるとよいですよー
いのみ: 女子部でって話ありましたね。
しんすく(け)さん: いいじゃない!
いのみ: やろう! というにはまだ自分自身の知識が少なすぎるので、声を上げられず・・・(汗)
しんすく(け)さん: 女子部!
ばんばん: というか、男性陣もがんばれ!
きよん: メガネ男子部とかつくろおう! (お
いのみ: 男子じゃないけど、メガネです! w
わっしー: めがね十スーツ男子で。
しんすく(け)さん: かけてねえ!! w
ばんばん: でも本当に、WACATE で得た仲間で、なにか取り組んでみるのはすごく良いと思うのです。たしかバグのワーストプラクティスも、WACATE で知り合った仲間で活動していますよね?
いのみ: うん。テスト設計コンテストには出てみたいので、その準備で目下勉強中。一緒にやろう! な仲間は是非欲しい! とは言え、今だと教えてちゃんになっちゃうので、そうならないように下ごしらえです。
コヤマン: いいねー
なかさや: 女子部としては、一緒に勉強しながらやろうぜい。な気持ちなので、それでおk
いのみ: なるほど。じゃ、そのうちそういう動きやりましょう!

わっしー: テスト設計コンテストは九州からも参加予定。
hiroise: まじですか。超がんばってください
いのみ: おおー。見たい見たい!
わっしー: 超がんばります、ありがとうございます。

テスト設計コンテストとは何ぞや?については、JaSST'12 Tokyoのサイトをご覧くださいね♪

ばんばん: 次はしんすくさんに伺うのがよいかしら?
softest: まってました
いのみ: わくわく。
きよん: ktkr
わっしー: wtkk
ばんばん: しんすくさんは、いろんな活動を自発的に行っているらしいですね。
コヤマン: しんすくさんはWACATEに来てからというよりははじめてるというかわ
しんすく(け)さん: んーん
ばんばん: だから、WACATEを通じてこうになりたい、というのはあまり無いのかしら?
しんすく(け)さん: んー
難しいところなのでは
ですが

WACATEでの出会い、という意味ではとてもありがたいです。
毎回尖ったやつを見つけます。
ラストの招待講演の方々のお話は毎回強い刺激を受けます。レギュラーセッションという意味では、半々、です。あまりに分かりきっていること、そうでないこと、半々です。ぶっちゃけると70%は分かっているつものことです。ただ、それを次の世代に伝える場、の練習という意味ではとても有意義です。

コヤマン: どちらかという、ベテランの見方の方が近いね^^

ばんばん: 次の世代って意識する立場になっていますものね

しんすく(け)さん: グループワークなので、それを若い世代にどう伝えたら判ってもらえるのか?っていうのを練習するとてもいい場所です。

hiroise: 確かに。参加者時代では、講義やワークは入門レベルだけど、ワーク内外での人との交流が応用レベル、なんて印象を受けてました>70%は分かっている

しんすく(け)さん: うん、まったくそのとおりで、70%わかっているつもり、をどう伝えられるのか?あたりはとっても勉強になります。

きよん: なるほどー。そういう視点で見られるのか。。

ばんばん: この場合の「伝える」は、直接口で伝える、という意味ですか?その場ですぐに伝えられるか

しんすく(け)さん: いえ、価値を理解してもらえるかどうかです。私見ですが、なんの意味があるの?どういう価値があるの?っていうのを誤魔化さずに伝えなければいけないはず

きよん: あー。しんすけさんいい事言ってる

ばんばん: ワーク中という短い時間で伝えるというのではなく、ですね。

しんすく(け)さん: うん。それで、短い時間を理由にする

のはいいわけですよ。時間が限られているなら、それで出来る方法を考えるのが伝える側の義務です。時間を言い訳にしてはいけない。時間が足りないなら、その価値を10分でつたえて、のこり100時間でも付き合ってもらおう動機付けをすべき。

コヤマン: これは、ワークにも、メンバーに対する接し方にも、言えることだね

しんすく(け)さん: 仮にどうしても時間が限られているなら、その時間でこれだけは持って帰ってもらおうっていう確固たる意思が運営側に無ければだめです

コヤマン: うんうん^^

しんすく(け)さん: 僕が勉強会を主催するときに必ず最初に決めるのが、何を持ってかえってもらうか、です。ワークショップ形式を好むのも、これがセミナーと比べて比較的容易だからです。手を動かす、からね。

コヤマン: 要約すると、「人に伝える練習をしている」かな

しんすく(け)さん: うん。そう。そのとおり。僕が得するだけでやっています。そうじゃなきゃおかしいですよ。真剣に勉強して、こうだ!っていう意見をもって、それを他人にぶつけて、フィードバックを得て、自分の考えを更に洗練する。それが勉強会ではないですか

ばんばん: WACATEは、年齢や経験年数にかかわらずいろんな方が関わっていますが、それぞれ関わりかたも活用の仕方違いますよね。

コヤマン: うんうん^^

しんすく(け)さん: うん。確かに利用法は人それぞれでいい。受けとって、へー!そんなのあるんだ!でもいい。それが3年後とか。5年後に?になる。それをまたぶつける。それで技術はどんどん発展する。

勉強会とか、技術者が集まる場は常にそうあってほしい、と個人的には思います。だって俺が楽しいし、そのほうが。

コヤマン: w

いのみ: ww

コヤマン: 最後の一文はでも、ほんと重要だよね^^

しんすく(け)さん: 今日の僕が否定されることでどんどん僕が育つんですよ。なんてありがたいww

きよん: しんすくさんカッコ良すぎてやばい。

わっしー: おお・・・否定されたら凹まずにそう思おう

しんすく(け)さん: うん。そうだって。だから、たくさんみんな、「建設的に」「論理的に」否定しよう。それが出来なかったらリスペクトしよう。

コヤマン: イイネ

ばんばん: さて、時間がいい時間になってきました。が、ちょっと聴きたい人がいるw

しんすく(け)さん: ういw

コヤマン: fm

ばんばん: のこりはですね、実行委員なのですがー、その中で一番若いひとー

しんすく(け)さん: おーい、いけめん

hiroise: すんません。何を聞いてるんでしたっけ??あといけめんじゃないです

ばんばん: WACATEをこうしたい!こう活用したい!という想いを聴かせてください^^こんなことしてみたい、でもOKです

きよん: 気になる!

hiroise: 全然答えを用意してなかったのでもともな返答がないんですが・・・直近としては、2つ>こうしたい!

hiroise: 1つは**開発者・テストエンジニアの区切りなく、色々な人をテストコミュニティに巻き込めれば良いなーと感じてます**

しんすく(け)さん: いいね!

hiroise: 要求分析であれ開発であれ、高品質な開発であれスピード重視な開発であれ、テストはどこでも必要なので

きよん: いいですね!

hiroise: あともう一つは**もっと若年の方々をテストコミュニティに巻き込んでいければ、と感じています**。現状、WACATEは30台半ばが中心で、若手若手してない感じなので・・・

まとめると、**あらゆるところにテストの知見を、っていう環境ができればいいなんて感じてます**。役職・ロールにこだわらないのも、もっと若い時から啓蒙したいのも、そのためです

コヤマン: イイネ

きよん: そう。もっと25前後の人いれたい>< 寂しかったれす><

しんすく(け)さん: 逆に、20代がテストコミュニティに入っていない、入れない理由って何かありますか?

ばんばん: 今夜の初めのほうに、テストのイベント以外のイベントに参加するきっかけがあったり、他のイベントとコラボする機会があったらいいね、という話をしていました。(いや少なくとも私はそういう話をしたつもり)

いのみ: 想像ですが・・・新人さんとはとにかく勉強して開発(製造)で使えるようになりたい意思が強いとか?<テストコミュに20代が少ない理由

しんすく(け)さん: なるほどね。それはひとつ、ある>いのみちゃん

しんすく(け)さん: 20代はつくるほうに集中して、その姿勢に何かしら疑問も持ったひとがテストにくる

hiroise: 若年のテストエンジニアの方って、そもそもあまりみないですね・・・。少ないのか、文化的にそうなのか分からないんですが・・・

きよん: 品質に対する勉強会が少ないとか。プログラミングと比較して。

コヤマン: まず、テストや品質関連の学問を修めて社会に出てこないんじゃないかなあ

しんすく(け)さん: では、テストに至るパスはそこしかないのか?

hiroise: 確かに>20代はつくるほうに集中

しんすく(け)さん: それって、10年もかかるのかな

コヤマン: みんなまず、作る側の勉強をして、作る側に企業として配属されるから、がまずの理由では?と。

hiroise: 開発者コミュニティでは、20代前半にもスタープログラマが山のようにいますからね。きよんさん含め

しんすく(け)さん: うん。

きよん: 僕がスタープログラマ?w それはbleisさんとかですw>hiroiseさん

hiroise: いやいや、もう遅し

ばんばん: テストの人が、もっとテスト以外の勉強会やイベントに参加していくことで、逆にテスト以外の勉強会に

参加しているみなさんが興味を持つこともあるんじゃないかなあと思ったりしています。

いのみ: うん。それはあると思いますね。<テストの人がテスト外の勉強会に参加→違う視点で風穴あけて→興味を持ってもらう)

なかさや: 2つあると思うんですよ、、開発側にいるから、テスト側の勉強会とかコミュにあまりこない、ってのと、**そもそも社外へ目を向けられないひと、ってのが**

わっしー: 社外へ目を向けられない人は多い気がします。周りを見ると。

いのみ: あー。それありますね。<社外へ目を向けられないわざわざ休日を利用して勉強?大変だねー。とか言われる。

しんすく(け)さん: だって趣味だし。

きよん: そこは好きな事を仕事にできているかどうかの違いですよ。

しんすく(け)さん: 休日に趣味やってなにがわるい

hiroise: そういけば開発=趣味は当たり前のようにいますが、テスト=趣味はあんまりないですね・・・

しんすく(け)さん: えー、うまいつくりかた、も立派に趣味だよ。

コヤマン: テスト=趣味となるかはわからないけど、いじくりまわすのは大好きだよ。たぶん。それってテストに通じると思うんだなー

hiroise: 開発だとオープンソースに参加したり、コード晒したりできるけど、テストでは何をしていくのか・・・

しんすく(け)さん: 帆船模型をただ出来上がれば良い、とするひとと、うまく作りたい!って思う人の差だよ。

hiroise: ごめんなさい。分かりにくかったです。趣味として開発を日曜にやったりする人は山のようにいると思いますが、テストではどうかなー、と

なかさや: 開発≠趣味な人もいますからね。あくまで仕事。

きよん: ゲームの攻略サイトを作っている人はまちがいにテストエンジニアの素質がある。とよく思います。

しんすく(け)さん: 作り方の課程を意識することで、その文化をより知りたいて思うじゃん。

きよん: そうそう。

コヤマン: うんうん

しんすく(け)さん: だーかーらー! コンピューターが大好きなんですよ!!!

コヤマン: w

きよん: 若年のテストエンジニアがいないという問題があるとして、みなさんなら新人にまずテストから教える事が出来るのかどうかって話もあると思うんですがどうですか?

なかさや: 少なくとも、弊社は新人から検証部(=テストエンジニア)として育てた子たちがいます。

しんすく(け)さん: 私見ですが、僕は**開発をおもいっきり、自分の責任で、最後までいっかいてみるべきだ**と思います。そうじゃないと、品質やテストの真の重要性はわからない。そういう意味で、コード書けなくてもいい、には大反対です。

softest: それは、今の若いエンジニアは最後までやってない、ということですか?>しんすくさん

しんすく(け)さん: はい。環境によってはそういうエンジニアもいると思います。責任が断片化している。

softest: なるほど。

しんすく(け)さん: 自分の作品だ、と胸をはって言えなくなっている

ばんばん: 私もしんすくさんの意見に同意です。最初から最後まで知っているほうがいいです。

しんすく(け)さん: **自分の作品だったら、質を真剣に考えるはず**です。質を考えると品質にいく。品質を考えると品質モデルに行く。品質モデルを考えると外部、内部品質にいく。そこから、自分の仕事を考えるようになる。

なかさや: 自分の作品、、、は、人によるところありそうなのですが、視点を知らなくて意味でも、最初から最後まで知った方がいい、は賛成

ばんばん: そういう学校をでて勤めているのであればまだしも、中には本当にプログラム言語をちょっと覚えてだけで開発現場に向かう人も・・・まだいるんじゃないでしょうか？

しんすく(け)さん: うん、時期尚早です。プログラム言語を覚える、というのは小説家に例えると「50音をしている」ということです。それで直木賞はとれません。50音を覚えて、FWを知って、自分のやりたいことを考えて、ニーズを考えて、うまいやり方をしって、はじめて一人前です。

って当たり前じゃないのか！！ってところに最近衝撃です。

なかさや: ソフトウェアには直木賞ないからねー。そういうのあるとモチベあがるかもしれないですねえ。

コヤマン: 賞のあるなしじゃないけどねw

なかさや: モチベーションあげる手段のひとつ、という話ですw

コヤマン: てか「**どうやって作ってあるのか**」がわからないのに、「**いいもの**」は作れないよね

「**どうやって作ってあるのか**」がわからないのに、「**これがいいものか**どうか」はわからないよね

hiroise: ただぶっちゃけ、開発も同じなんじゃないですかねー。

しんすく(け)さん: 直木賞ってのは例えで。ニーズやうまいやり方、ってことです。芥川賞って言わないあたり、おさっしてください。

hiroise: ただコーディングしてるだけじゃなくて、ソフトウェアがどういう品質ならいいのか、どういうソフトウェアが魅力的なのか、何をもとめられているのかなんて、全体を考えてこそ、色々見えてくると思います。テストと同じく

わっしー: そう思います。

しんすく(け)さん: そうそう。それを考える上で、開発とテストの垣根なんかはないよ

softest: 僕は単純にプログラマーのほうが華やかだ、というのも大きいと思いますよ。<テストや品質に興味を持つ若いエンジニアが少ない理由。

コヤマン: うんうん。「いいもの」を作りたい仲間なのはかわらない

しんすく(け)さん: もう、分けてることがナンセンスだ。分けなきゃいいじゃないですか。作れる+品質を考えられるエンジニアか、作れる、だけのエンジニアか、ですよ。

softest: 分けることがナンセンス、というのはKENさんも同意見でしたね。

しんすく(け)さん: はい。

わっしー: **一通りのことをできて、じゃあテストの方が好きだからテストやるわ、あっそうじゃあ私は設計のほう、みたいなのがいいなー。**

ばんばん: 単に、興味を持つ機会が少ないだけかもしれない？<テストや品質に若いエンジニアが興味を持たない

softest: あるかもしれませんが

きょん: プログラミングがオープンにしやすいことに比べてテストってオープンにしづらいとかもあるかもしれませんがね。コード見せづらいとかも。

なかさや: お医者さんって、たしかそうなですよ？全部(?)科を一通り勉強して、研修でまわって、そのうえで、自分は何の専門家か、って宣言するというか

しんすく(け)さん: でもその一方で、すべてを疑ってたら、開発なんかできません。このAPIがちゃんと動くかな？って、すべて疑ってたら仕事になりません。その一方で、テストエンジニアはすべてを疑ってくれます。そういう意味で住み分けはできるのかも、と一方では思います。

ばんばん: 「**住み分け**」の意味をとりちがえないことが大事ですよ？

しんすく(け)さん: あああ いいこといってる。その通り。テストも開発者も全部できます。その上で、役割も考えます。あたりがいいかな。

softest: 同意見です

しんすく(け)さん: あざっす！

さてまとめるかなーwて、まとまったのか？w

ばんばん: 今夜思ったのは、やっぱりテストだけ学ぶんじゃなくて広く学ぶのがよくて、それをWACATEだけで実現させるのではなくて、いろんな勉強会に参加してそれぞれ情報交換したりして・・・なんてことを目指すのがいいのかなあ、なんて思いました。

コヤマン: イイネ

ばんばん: ホントに、次、他のイベントについて、語りたいですね。あるいはMagazineに特集載せるって話もでてましたっけ？

hiroise: **きょんさんのSCMBC!**

コヤマン: 出たね^^

きょん: SCMBCきたああ！

いのみ: うん。聴きたい。自慢して！w

きょん: うむ！日本でトップレベルのバージョン管理勉強会だよ！各ツールのコミッターとか著者さんとかに直接教えてもらえるの！自慢したいw

hiroise: マガジンに載せる方向でいいと思いますよー。ちょうどいいタイミングだし

しんすく(け)さん: 単にSCMの使い方じゃなくて、その心意気まで学べるのですね。すごいです。

コヤマン: 確かに

しんすく(け)さん: よろしくー！

きょん: えっと。。。あとでメールなりなんなりください！**がんばって書きます！w**

ばんばん: おお、他にもいろいろ紹介できるとよさそう。コヤマン: いえっさ^^他にもイベント紹介コーナーとして、色々な人に声かけてみよー^^

hiroise: TDDBC も有望ですねー。運営側が何人もこちらに
いますし

しんすく(け)さん: モバイルのテスト事情についても、な
んかやろうぜ

きょん: なにそれ激アツい!

hiroise: Android?

しんすく(け)さん: うん、いまは Android ですが本当はモ
バイルテスト。全体に広げたいんです。そこから HTML5 を
絡めたい。

コヤマン: イイネ! HTML5

しんすく(け)さん: モバイル HTML5。10 年後、これが主流
になる。絶対。

コヤマン: うんうん

hiroise: いいですね。Adobe のように叩かれない超有望な
マルチプラットフォームになりそう >HTML5

しんすく(け)さん: いままで、Windows の主要な開発は C
だったんですね。または C++、MFC を使うなら。それが、
Vista や Windows7 で、C#などの.net になりました。

ばんばん: なんか面白いしかけができそうな気がしてきま
した。いろんなイベントに関われば、面白くなるんじや
ないかなあ・・・

なんてところで、そろそろ終わりにしようと思ひますー。
次回はたぶん 11 月?

なかさや: マガジンあたりから実現しそうですね。楽しみ
です♪

ばんばん: へー、きっと 11 月にあるんじゃないかなあとち
よっと無責任なことをいっつわ

わっしー: 次回はちゃんと前もって申し込みしますです。

ばんばん: あ、あのタイミングでも大丈夫ですwだけど誰
も参加しないのかなーとちょっと不安になるかもw

わっしー: w

いのみ: どきっ

ばんばん: えー、それでは今夜はこの辺で・・・

コヤマン: お疲れ様でした!

いのみ: お疲れ様でしたー。

なかさや: おつかれさまでした!

きょん: おつかれさまでした!

softest: お疲れ様でした～

わっしー: お疲れ様&ありがとうございました!おやすみ
なさい。

softest: 来週は北海道かしら

hiroise: お疲れ様でしたー

ばんばん: 北海道組、来週また会いましょーw

hiroise: あ、北海道今年ががんばっていきます。よろしく
お願いします

いのみ: 北海道と東海と九州、よろしくお願ひしますー。

コヤマン: また来週～♪

[1:49] 終了! すみません長くなっちゃって・・・orz

しかしまふ・・・☆いろいろ楽しい展開になりそうです!!

■参加方法と次回予告だよ

□チャットに関する要件は以下の通りです♪

・Skype のチャット機能を利用します(ボイス通信は使いま
せん!)

・グループに参加していただきますので、コンタクトリス
トにない人が含まれるチャットに参加できるように設定し
てください

・チャットに表示される名前を、Magazine に掲載してよい
ハンドルネームに設定してください

次回開催は・・・ごめんっ><11 月は無理っ(涙)

11/27(日) 21:00～ chat 開始!

20:55 にはパジャマに着替えて skype 前集合♪
みんな、次の日はお仕事だと思うので程々にねw
テストのお話しましよ♪

テーマは

「WACATE2011 冬への想い」でっす!!

「他のイベントについて知ろう!」についても、そのうち
テーマとして挙げる予定です。とりあえず次回は上記テ
ーマでいかせてねー★

■参加申し込みは以下の方法で!

=====

WACATE-Magazine 編集部のチャット窓口

(magazine-chat@wacate.jp) に

「てすバナ参加希望」という件名で

以下の情報を添えてメールしてください。

- ・名前
- ・Skype 名
(検索で複数名リストアップされる場合に備え、
メールアドレスも教えてネ)
- ・今回のテーマについて、チャットで語りたこと
- ・今後テーマとしてとりあげてほしいこと
(できるだけ皆で議論できるようなテーマを
お願いします)

=====

皆さんのお申し込みをお待ちしております☆

今回のチャットルームオーナー: ばんばん

Software Test Topics

当番：上田卓由 (Magazine 編集部)

こんにちわ♪
上田ですっ

WACATE 2011 冬の申し込みが開始されています!!!
今回から参加申し込みの際にポジションペーパーを添付
するということになっていますので、今までと申し込み
の仕方がちょっと変わってますね。
申し込みのめ切が11月13日(日)23時59分ということ
ですので、余裕をもって申し込みをされたほうがよいと
思います ♪

さてさて、そんな感じで今月もお役立ち情報を皆様にお
届けっ ♪♪

【イベント】JaSST' 11 Tokai

JaSST を、東海から。

<http://www.jasst.jp/archives/jasst11n.html>

開催日：2011年11月11日(金) 10時~18時30分 (情
報交換会は19時~20時30分)

申し込みめ切：2011年11月4日(金)、18時まで

場所：名古屋市中区企業振興会館 4F(名古屋市千種区吹
上二丁目6番3号)

参加費：基調講演+シンポジウムセッション：5,250円、
基調講演+チュートリアル：5,250円、情報交換会：3,150
円

テーマは「やろまいか!東海」で、地域での新しい取り
組みや現場の改善事例を共有するとのこと。基調講演は、
三菱航空機の藤江 壮氏による「MRJの開発
状況 - Flying into the future -」です。
特別講演は、静岡大学の森崎修司氏による「製品、ソフ
トウェア、プロジェクトの前提と品質の関連付け」です。
参加チケットについてですが、基調講演+シンポジウム
か、基調講演+チュートリアルのどちらかを選択となっ
ています。

【イベント】JaSST' 11 Kyushu

JaSST を、九州から。

<http://www.jasst.jp/archives/jasst11k.html>

開催日：2011年11月25日(金)、9時30分~18時 (情
報交換会は18時30分~20時)

申し込みめ切：2011年11月18日(金)、18時まで

場所：福岡システム LSI 総合開発センター (福岡市早良区
百道浜 3-8-33) (予定)

参加費：チュートリアルとシンポジウムに参加：6,300
円、シンポジウムのみ参加：4,200円、チュートリアル
のみ参加：2,100円、情報交換会：3,500円 (予定)

※情報交換会は参加自由

テーマは「テスト仲間を増やそう!」で、テスト分野に
とられずに、九州を拠点として活動しているソフトウ
ェアに関する様々なコミュニティの活動の紹介とのこと
です。

基調講演は、西日本旅客鉄道の尾縄 大輔氏による「山陽
新幹線の安心・信頼の確保と、九州新幹線全線開業への
対応について」です。

招待講演は、日本 HP の湯本 剛氏による「テスト自動化
の前に押えておきたい3つのポイント」です。

参加チケットについてですが、シンポジウム+チュート

リアルかシンポジウムのみかチュートリアルのみを選択
となっています。

【書籍】ソフトウェアの信頼性-信頼性技術叢書-

<http://astore.amazon.co.jp/wacate-22/detail/4817194138>

価格：3,570円

著者：木村 光宏, 藤原 隆次

監修：信頼性技術叢書編集委員会

出版社：日科技連出版社

発売日：2011/10

ソフトウェアの品質、信頼性、開発プロセスやテスト活
動、信頼性の評価やツールについてまとめられている書
籍になります。

さて、WACATE2011 冬のプログラムが公開されていま
すね。

各セッションの参考書籍が記載されていますが、そこに
紹介されている参考書籍以外にうえだが「これもいいか
も!」という書籍をいくつか簡単にご紹介したいと思います。

本屋さんで中身を見てみて、よかったら是非!

【書籍】ソフトウェア品質知識体系ガイドー

SQuBOK-Guide-

<http://astore.amazon.co.jp/wacate-22/detail/4274501620>

価格：3,675円

編集：SQuBOK 策定部会

出版社：オーム社

発売日：2007/12

【書籍】誰のためのデザイン—認知科学者のデザイン原 論—

<http://astore.amazon.co.jp/wacate-22/detail/478850362X>

価格：3,465円

著者：ドナルド・A. ノーマン

翻訳：野島 久雄

出版社：新曜社

発売日：1990/02

【書籍】ロジカルシンキングのノウハウ・ドゥハウ

<http://astore.amazon.co.jp/wacate-22/detail/4569618820>

著者：HR インスティテュート

編集：野口 吉昭

価格：600円

出版社：PHP 研究所

発売日：2008/7/1

このコーナーでは、書籍やイベントの情報を募集してい
ます。

例えば、「来月勉強会とか OFF 会とか開催するんだけど
掲載してくれない?」といったものでも OK です。

開催地も、日本全国津々浦々、どこでもかまいません。

情報をお待ちしております m(_)_m

あたべの

白

々撮景三

■行ってきました宮古島

宮古島は沖縄のちょっと南にある、海がとんでも綺麗な島です。今回はその中でも特に綺麗な吉野海岸でシュノーケリング三昧してきましたので、**シュノーケリングの基礎知識**と一緒にその模様をレポートします。



■ライフジャケット借りましょう

珊瑚礁で泳ぐ場合はあると非常に便利です。干潮でも体が浮いて行動しやすい。体温が下がりにくい。簡単に休める。



■シュノーケルの装着位置は顔の左側

排水弁の付いているシュノーケルの場合、排水弁が一番下に来る**装着位置は顔の左側**になります。自分で装着する際は排水弁の位置を確認してみてくださいね！



■歩くときは後ろ向き

足ひれを付けた状態では前に進みにくいです。海中への入出の際は後ろ向きに進みましょう。



■海への入り方

- ①浜辺から後ろ向きに波打ち際へと進み、浅瀬でしゃがむ
- ②しゃがんだ状態から背泳ぎで更に進む
- ③ある程度の水深になったら顔は海上に出したまま体を反転させてうつぶせの状態になる
- ④ゆっくりとマスクを海中に沈める（耳は海上に出したまま！）
- ⑤一度思いっきり息を吐いて、シュノーケル中の水を排出する



■耳は水上に出す

周囲の状況が把握出来て**安全確保**に繋がります。耳を出した状態でも水中での視界はそれほど変わりません。



■休み方 with ライフジャケット

仰向けになる。**足を広げて**バランスを取る。腰を曲げてソファに座っている姿勢になると、頭が海上に出て休めます。



■海からの出方

- ①背泳ぎで**お尻が浜辺に付く**まで進む
- ②立ち上がって後ろ向きに浜辺へ上がる



■観光情報

マンゴーなどのフルーツが食べたいなら6月頃がオススメで、暑いのが苦手なら10月頃が台風も去ってちょうどいい季節です。



書いた人：おたべ

WACATE-Blog 出張所

◆WACATE 2011 冬準備中!

開催が決まってから割とタイトなスケジュールで取り組んでいる WACATE 2011 冬! 先日、実行委員で合宿を実施しました!



お昼も一緒に食べて...



また真剣に議論!



どうしたら参加者の皆さんが喜んでくださるか、という点と自分たちが何をしたいのか、といった点をつきつめていきます!

新しいセッションへの挑戦
初めてセッションを作る挑戦
新しい活動への挑戦

色々な挑戦をしながら、僕たちは加速しています!

◆次の WACATE に向けての近況

現在の次の WACATE に向けての活動は以下です。

◆実行委員会ネタ

- ・オンライン会議にてドライブ中!
- ・合宿やりました!
- ・そろそろセッションリハーサル!
- ・とあるイベントも検討中♪
- ・JaSST' 11 Hokkaido に行ってきました♪
- ・JaSST' 11 Tokai に行きます♪
- ・JaSST' 11 Kyushu に行きます♪

◆WACATE ネタ

- ・セッション出揃いました!
- ・WACATE 2011 冬の準備も大詰め!
- ・前夜祭の開催決定!
- ・ManiaX vol.6 発行準備開始!

...とこんなカンジです!

さあ、君も WACATE 実行委員会で一緒に加速してみないか!?

書いた人: コヤマン

開運

源太郎の ソフトウェアテスト占い

※「ソフトウェアテスト占い」とは…
日本の伝統的な暦で知られる気学(九気性)をもとに、日本古来の統計学とソフトウェアテストで培った時代の統計学を組み合わせ考察された占いである！(笑)

	生まれ年	10月の運勢 (10月7日~11月6日)
一白水星	S38/S47/S56/H2	運気は、やや上向きになりつつあるが、 調子に乗ると困難を招くことにもなる であろう。見通しのついた事から行えば円滑に進むと心得よ。 勢いに任せて独断で行動しがちになるので注意 すべし。万事控え目にし 好機を待つのが得策 と心得よ。
二黒土星	S37/S46/S55/H1	本命星と兌宮の影響により 運気は上向き で、物事の渋滞も解消の見通しがつくであろう。無理をせず 自然の流れに従い解決にあたる ことが肝要なり。 独走は逆走に変わる 可能性が高いので注意すべし！ 目先の利益にとらわれてることなかれ！
三碧木星	S36/S45/S54/S63	年盤と艮宮の影響により 運気は好調 なり。 この波に乗ることが出来れば成果は間違い であろう。(特に商取引が 好機 なり) ただし完全な計画によるものでない とうまくいかぬと心得よ。 白惚れを捨て、慎重に相手の真意を察 することが肝要なり。
四緑木星	S35/S44/S53/S62	商取引・投資などに縁のある月 と言えるであろう。ただし 波が激しい上に暗剣殺を受けている ので 事前の調査が肝要 なり。本命星と離宮の影響により 周囲の援助を得る であろう。 油断は禁物、詰めを誤らないように注意すべし！！
五黄土星	S34/S43/S52/S61	本命星と年盤の影響で 運気は好調 なり。 温めていた思いを実行に移すには絶好の月 なり。ただし 功を焦らず着実な道を選ぶ 事が肝要なり。坎宮の影響により時として 全てが水に流される こともある、 身勝手な計画は失敗のもと と心得よ！
六白金星	S33/S42/S51/S60	年盤の影響により 運気は、いささか低迷気味 となり物事の 進展が思わしくない であろう。坤宮に会しているので、 地味にコツコツと行動をとるのが一番の良策 と心得よ。 焦らずに状況を把握し順序立てた行動が肝要 なり！！
七赤金星	S32/S41/S50/S59	変化変動と波乱の多い月 となるであろう。震宮の影響により 口が災いする 場合があるので、 軽率な言動は絶対慎み誠意で正道を歩まねば大事 となると心得よ！ 奢る事無く苦労を厭わず穏やかに事を運ぶ ことが吉なり。
八白土星	S31/S40/S49/S58	本命星とは相生なれど巽宮の影響により 運気は伸び悩む であろう。本月は 地に足がつかない月 となり、 他人に影響されぬよう、冷静な行動で物事に対処 することが肝要なり！！ 噂や流言に踊らされぬよう、注意すべし！！
九紫火星	S30/S39/S48/S57	中宮に会することで、 変化・変動のもっとも激しい月 となるであろう。 精神的な動揺も多い月 となるであろう。 心身の管理に努める ことが大きな課題の一つと心得よ！年盤の影響により、 迷ってばかりいると好機を逃すので注意 すべし！！

月盤九紫火星				年盤七赤金星				
南 暗剣殺				南				
東	8	4	6	西	6	2	4	
	7	9	2		東 五黄殺	5	7	9
	3	5	1			西 暗剣殺	1	3
五黄殺 北				北				

◆今月のチェックポイント！

今月は「九紫火星」中宮となり【**熱しやすく冷めやすい**】と卦象の影響により「**波乱**」な月なり。今年「七赤金星」中宮であり「九紫火星」とは相克のため、「**出費**」に影響が出るであろう。ただしに「九紫火星」の特徴の一つである「**明智(めいち)**」という面から「**正道を歩む**」ことが吉。今月は、「**冷静な行動**」で「**正道(王道)を歩むこと**」ことが良い月と心得よ！！

★今月のラッキーテストアイテム

九紫は「**協業**」「**明るみにでる**」という特徴がある星です。「**協業**」「**明るみ**」と言えば**共同作業**のための**可視化**を思い浮かべます。プロセス・進捗・不具合等々の今まで未着手の**可視化**をしてみては？「**可視化&共有**」について、新たなトライしてみませんか？！

今月のSTAR★

◆合宿のーコマ

WACATE 実行委員会として合宿をしました。
スター☆がほほ笑みをたたえながら集中しています。
うーん。神々しいですね。



しっかり集中した後は、みんなで食事です。



スター☆のような高貴なお方がいると、
さすがに中華料理屋さんも**円卓にせざるを得ませんね。**
そしてそれを囲む円卓の騎士たち。

ごはんを食べたらスター☆もちょっとオネム。



寝顔を隠すその仕草もラブリーです♪

そして WACATE 2011 冬に向けた真剣な議論がなされ、
WACATE 2011 冬は開催準備が進められていきました。

一泊二日の間、真剣に議論をするという行為は、
やはりさすがのスター☆の身体も蝕んでしまうようです。

そしておもむろに取り出したのは…

「**ほっとアイマスク**」

さすがスター☆、メンテナンスの準備も万全ですね…

スチャッと装着…



したと思ったら即ドーン!



この間約 0.03 秒。

スター☆の残像のすごさからそのスピードがおわかりになるかと思います。

時間を決して無駄にしない!

そんなスター☆の気概が伝わってきました。
僕も見習おうっと!

書いた人：コヤマン

❁お知らせ❁

11月30日(水)に WACATE-Magazine vol.35 発行します!(たぶん)

今回は「JaSST' 11 Tokai Report!」をお送りします。

来たれ! 投稿戦士!

WACATE-Magazine では“ソフトウェアテストや品質に関する記事”を常に募集中です。
来たれ! 投・稿・戦・士!!!

WACATE-Magazine はボランティアベースで発行されています。したがって原稿料は出ません。※ノーギャラです。
投稿いただいた原稿の掲載可否、掲載時期については編集部で決定させていただきます。
特定の商用ツールやサポートなど営利色が強い原稿は原則として掲載いたしません。
レイアウトなどは全て編集部で行います。また、特に戻り確認などを行いません。
単なる論文は掲載しません。紙面の雰囲気を読んだ、イイ感じな文体や内容をお願いします。
公序良俗に反すると思われるものについても掲載しません。

以上を了解した上で、**覚悟完了!**な方は WACATE-Magazine 編集部「magazine@wacate.jp」まで、是非ご連絡ください。
折り返し、担当より要綱をご連絡いたします。
楽しい、そして役に立つ紙面にするため、是非ご協力いただければ幸いです♪

☆その他、WACATE-Magazine では以下の情報をお待ちしています☆

- 書籍情報(オススメ書籍情報も可)
 - イベント情報(ソフトウェア/品質/テスト関連)
 - 勉強会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
 - オフ会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連)
 - デザート情報(甘いものならなんでも。イカス!やつで。)
- などなど、お待ちしております♪



★★★ WACATE 実行委員募集中 ★★★

編集後記

うえだ★WACATE 2011 冬開催まで一カ月ちょっと!!
あべ★フィルムカメラに手を出し始めました。味のある写真撮れていかも。
コヤマン★WACATE 2011 冬が近づいています! 楽しんじゃおう!
ぼんぼん★JaSST' 11 Hokkaido で「隣の人より健康だと思う人」の問いに手を
上げられなかった…orz。め、めげないもっ!
あらかみ★…来月号には、占いを2カ月分掲載します…
いのみん★WCT48(編集)研究生になりました。人気投票でセンター(コーナー新設)に
なるかも!? よろしくお祈りします♪

★あくづけ★
2011/11/03(thu)はっこ
WACATE-Magazine へんしゅう
[✉Magazine@wacate.jp](mailto:Magazine@wacate.jp)
<http://wacate.jp/Magazine/>